

## ラヴロフ外相、ロシアの兵器配備は自国領内、米国の東欧配備とは違う

(スプートニク 2016年10月13日 15:04)

© Sputnik/ Sergey Pyatakov <https://goo.gl/iZDsn7>

ラヴロフ外相はCNNテレビからのインタビューに答え、カリーニングラードでの兵器の配備について、これはロシアは自国領内で行動していることであり、原因は米国は東欧への兵器配備を行っているからだと言った。

「自国領内で弾頭をどう展開しようが、これは我々の領土だということだ。だが米国は東欧の軍事プログラムの展開費を4倍も拡大した。米国は我々の国境へ軍事インフラを接近させている。今しも、米国の最新の航空機F-35は最新の核爆弾を搭載し、ロシアとの国境付近に配備されることになっている。だがこれは米国の領土ではないではないか。」

<http://sptnkne.ws/cy7v>

## 世耕経済産業相、ペルーまでに対露関係で成果達成に意欲

(スプートニク 2016年10月13日 15:13)

© AP Photo/ Shizuo Kambayashi <https://goo.gl/ppL8wo>

世耕弘成・経済産業相兼ロシア経済分野協力担当相は11月にペルーで開催のアジア太平洋協力会議(APEC)までに露日間の経済協力分野で具体的成果を達成したいとの期待を表した。APECサミットでは安倍首相とプーチン大統領の会談も予定されている。世耕大臣は衆議院の予算委員会で演説したなかで対露協力について「一定の成果を出したい」、「安倍晋三首相がペルーに行く前に、モスクワを訪問してロシア側の関係大臣とよく調整したい」と語っている。共同通信が報じた。露日の協力は経済分野にとどまらず、学研、民間分野でも活発化している。

先に日露大学協会創設の協定が2016年末までに調印されると、モスクワ大学のヴィクトル・サドーヴニチイ学長がスプートニクに述べた。

<http://sptnkne.ws/cy7X>

## 米の「衝突は不可避」発言にロシアが答えた

(スプートニク 2016年10月13日 15:52)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/Fiuj5Y>

ラヴロフ外相は露米間の衝突は不可避との意見には同意していない。外相はCNNテレビからの

インタビューにこう語った。これより前、マーク・ミリー米陸軍参謀総長は将来、大規模な戦争が起きることは「事実上、不可避」と発言している。

ラヴロフ外相は、ロシアはこうした声明があったことは周知しているものの、ロシアとしては対米関係を悪化させる構えにないと述べ、こうした事態となれば軍事紛争へとつながりかねないと指摘している。「米軍人らの、ロシアとの戦争は不可避との声明は読んでいる。これは彼らの誠意に委ねたい。」外相はこう付け加えた。

ラヴロフ外相はまた、国際問題は事務的に、かつヒステリックなロシア嫌いやヒステリックな声明を抜きにして解決すべきだと指摘した。「命を守るためには非常にプラグマティックに具体的に行動せねばならない」。インタビューでラヴロフ外相は、国連安保理のテロ組織リストの見直しの必要も強調した。

外相は、テロ組織リストには「ヌスラ戦線」に合流した急進主義組織「ジュヌード・アルアクサ」を加えるべきと主張している。「ジュヌード・アルアクサ」のテロリストらは、同じく国連安保理のテロ組織リストには含まれていない「アフラム・アシュ・シャム」との闘争が激化した後、「ヌスラ戦線」へ合流したことを明らかにしている。

<http://sptnkne.ws/cy7F>

### **米海軍駆逐艦、イエメン沿岸で再度ミサイル攻撃を受ける**

(スプートニク 2016年10月13日 21:14)

◎ 写真: Mb-world <https://goo.gl/RGjeFe>

米海軍の軍艦が再びイエメン沿岸でフーシ派蜂起勢力の影響下にあるテロリストらにミサイル攻撃を受けた。ロイターが米当局の情報をもとに伝えた。2発のミサイルが駆逐艦メイソンとその護衛艦ポンセの近くに墜ちたという。バブ・エル・マンデブ海峡北部に駐屯しているメイソンは数発の対抗射撃を行った。イエメン沿岸における最初の米駆逐艦砲撃については月曜報じられた。

<http://sptnkne.ws/cyXC>

### **プーチン大統領、メルケル独首相、オランダ仏大統領がウクライナ情勢を会談**

(スプートニク 2016年10月13日 17:44)

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/4LuKjr>

プーチン大統領はオランダ仏大統領、メルケル独首相との電話会談でウクライナ情勢を話し合った。ロシア大統領府が明らかにした。

「ウクライナ情勢が話し合われ、2015年2月12日のミンスク合意を厳しく遂行する方法でのウクライナ国内の紛争の正常化にこの先、世界がどう協力できるか、その見通しが話し合われた。」

プーチン大統領は紛争解決の土台としてこの合意に代わるものはないと強調。電話会談ではまた、様々なフォーマットでの協議の活発化について取り決められた。

一方でオランダ政権は次回の交渉の主な冒頭はすでに列挙されていると指摘。内容はウクライナ東部の戦争状態が堅実に停戦へとむかうこと、軍部隊撤退作戦を急速化させること、欧州安全保障協力機構（OSCE）の監視団の現地へ障害なく入れるようアクセスを保証すること、ウクライナの法律およびOSCEの規範に従い地方選挙を実施することとなっている。

<http://sptnkne.ws/cyAs>

## **ヒラリー氏はプーチン氏を褒めていた！ ウィキリークス暴露文書からフォックスニュースが発見** (スプートニク 2016年10月13日 18:50)

© AP Photo/ Mikhail Metzger, Pool <https://goo.gl/DDzk1h>

フォックスニュースTVはウィキリークスが暴露したヒラリー・クリントン選挙本部のジョン・ポDESTA本部長のメールのやり取りを調べ、その中でポDESTA氏がプーチン大統領を賞賛している箇所を発見した。テキストは非公式行事を控えたヒラリー・クリントン氏のために書かれたもの。フォックス・ニュースはテキストの抜粋を放送した。

フォックスニュースは、ロシアとの関係改善を望むと発言するトランプ氏を笑い飛ばしているクリントン氏が過去には同じような発言をしていたことを指摘している。

例えば、2013年5月、米資産運用会社「サンフォード・バーンスタイン」の社員を前にした演説でクリントン氏はプーチン氏を「おもしろく、興味深い話し相手」と評価し、「プーチン氏とはいつもおもしろいわ。彼が次に何をするか、何を言うかは全く予想できないんだから」と語っていた。2013年6月、投資銀行「ゴールドマンサックス」で演説した際もクリントン氏は「ロシアとはよりポジティブな関係を今後も作り続けていく」意向を表している。

2013年10月ユダヤ・シカゴ統一基金での演説ではクリントン氏はモスクワ郊外にあるプーチン大統領の官邸での語らいを思い出し、トラなどの野生動物の保護にかける姿勢など自分はプーチン氏とは何か共通するところがあるとまで語っている。語らいの後、プーチン氏は大きなロシアの地図が貼ってある部屋にクリントン氏を招き入れた。地図にはトラ、アザラシ、クジラなどの生息地が示されていたという。クリントン氏はそれを見たときの様子を思い出し、「あれはすごかった」と感想を漏らしていた。

ウィキリークスは 12 日、ヒラリー・クリントン選挙対策本部のポデスタ本部長の機密書簡の第 5 弾を暴露した。

<http://sptnkne.ws/cyDe>

### **安倍首相、ロシアとの平和条約交渉に展望を見る**

(スプートニク 2016 年 10 月 13 日 19:03)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/3WXa0L>

安倍首相はプーチン大統領に平和条約問題解決のための交渉を共同で推進する責務を帯びるよう提案し、すでに交渉には展望が見られるという確信を示した。

平和条約締結と四島帰属については長年停滞状態にあったが、先日のウラジオストク交渉で相当踏み込んだ議論があり、交渉の具体的な進展の道が見えるようになった、と安倍氏。リアーノーヴォスチが伝えた。

安倍首相はプーチン大統領との対話の断片を例示した。

「私はプーチン大統領に述べた。君は 100%自分の正しさを確信している。私もそうだ。しかし、その立場のまま議論を続けても、さらに 70 年、問題は未解決のままだろう。我々は責任を引き受け、交渉を前進させ、固い決意をもって我々の世代で問題を解決しなければならない」。

安倍首相が国会で述べた。10 日、ロシアのペスコフ大統領報道官は、日本との領土争いの解決は忍耐と相互信頼を必要としていると述べ、正しい方向が選択され、楽観的になる理由があると指摘した。

<http://sptnkne.ws/cyEQ>

### **ジャーナリスト、シリアに関する質問で米務省報道官を窮地に立たせる（動画）**

(スプートニク 2016 年 10 月 13 日 19:18)

© AFP 2016/ Mandel Ngan <https://goo.gl/S43RPU>

米務省報道官ジョン・カービー氏は AP 通信の記者マット・リー氏の尋ねたシリアとイエメンに関する質問に対し、返答に窮した。インディペンデントが伝えた。

水曜のブリーフィングで記者は報道官に対し、140 人が死亡したイエメンの追悼式典での最近の空爆について尋ねた。イエメンのフーシ派蜂起勢力はサウジアラビア率いる有志連合をこの件につき

非難している。

「米国大統領府はこうした件と、当局がシリア、特にアレッポで、ロシア、シリア、イランを非難しているようなこととの間に差異を見出しているのかどうか気になる」と記者。報道官は明らか混乱をきたし、「何らかの違いはあると思う」と述べた。

報道官はしばし考えた後、サウジ当局は公に事件の調査を発表した、と述べた。その点シリアですべてが異なっており、シリア政府軍とロシア軍は「意図的に」民間の目標を爆撃し、調査するつもりはない、と報道官。

記者は（これに）対して、ロシアはシリアの人道支援車列への攻撃の責任者を見つけるよう呼びかけている、と指摘。報道官は、ロシアはサウジほど「明らかに」それを行ってはいない、と述べた。

**動画** <https://youtu.be/ZlyvwVltyPc>

記者はまた、米国がシリアの場合には攻撃が「意図的に」行われたことを強調しながら、サウジの場合にはそうしていない、と主張。報道官はそのような発言はしていないと反論した。

報道官はサウジのイエメン爆撃は自己防衛を理由としていたとして正当性を主張した。イランがイエメンの蜂起勢力に供給するミサイルがサウジアラビアを脅かしているのだという。記者は、その論理で言えば米国がサウジやその連合におけるパートナーに供給した武器がイエメン市民を脅かしている、と述べた。

<http://sptnkne.ws/cyDH>

## **世耕弘成氏「ロシアとの関係発展は北海道経済にとってチャンス」**

（スポーツニク 2016年10月13日 19:40）

© AFP 2016/ KAZUHIRO NOGI <https://goo.gl/7eKwAF>

日本とロシアの経済関係の発展は、北海道の地域経済にとってチャンスである。ロシアとの協力発展を担当する世耕弘成経済産業大臣が国会で述べた。

関係の発展を主導するのは中小企業である、と世耕氏。ロシア経済発展相アレクセイ・ウリュカエフ氏とウラジオストク会合で中小企業の協力のためのプラットフォームの構築に関する覚書を締結したことを再度指摘した。

「このプラットフォームに関して日本全国の中小企業のためのセミナーを開催したい。最初のセミナーは札幌で10月31日に予定されている」「北海道当局やジェトロ（日本貿易振興機構）などと

協力し、北海道の中小企業の更なるロシア進出を支援したい」と大臣。

世耕弘成・経済産業相兼ロシア経済分野協力担当相は11月にペルーで開催のアジア太平洋協力会議（APEC）までに露日間の経済協力分野で具体的成果を達成したいとの期待を表した。

<http://sptnkne.ws/cyFM>

### **ベトナム、自国での外国軍事基地出現の可能性を除外**

（スプートニク 2016年10月14日 00:35）

◎ AFP 2016/ HOANG DINH Nam <https://goo.gl/lgiKs3>

ベトナム外務省のレ・ハイ・ビン報道官は、同国は外国政府がベトナム領内に軍事基地を建設することを許さないと、ハノイでの記者会見で述べた。ロイターが報じた。

ビン報道官によると、ベトナムの政策は、同国政府が第3国に対抗するため誰かと結託する意向はないということにあるとし、「我々はまたいかなる国にもベトナムで軍事基地を作ることを許さない」と述べた。

ロシアのニコライ・パンコフ国防次官は先週、同省はキューバとベトナムに軍事基地変換問題を検討していると述べた。

<http://sptnkne.ws/cyDz>

### **米国、駆逐艦へのミサイル攻撃に報復でイエメンのレーダーを破壊**

（スプートニク 2016年10月13日 19:46）

◎ REUTERS/U.S. Navy/Mass Communications Specialist 3rd Class Janweb B.Lagazo  
<https://goo.gl/JgOPDR>

米軍は紅海の米駆逐艦「マソン」がミサイル攻撃を受けたことへの報復措置としてイエメンのレーダーを空爆した。

「マソン」はここ数日イエメンの2基のミサイルの攻撃対象となった。最初の1撃が撃ちこまれたのは10日で2基のミサイルが発射されたが、両方とも船には届かず水中に落下。米国防総省はこれを反体制派のフーシ派が砲撃したとして非難声明を出したが、フーシ派は攻撃は行っていないとしてこれを否定した。12日、「マソン」は再度攻撃を受けた。

米政権はミサイル攻撃後わずか数時間で報復を行い、フーシ派の掌握領域にある3基のレーダー

を空爆した。米国防総省のクック公式報道官は「最初の攻撃評価からレーダーは破壊されている」と語っている。報道官はこの攻撃に関してはオバマ大統領自ら開始を承認したことを明らかにした。

<http://sptnkne.ws/cyHQ>

## 露日戦略対話、3年ぶり待望の再開

(スプートニク 2016年10月13日 20:52)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/0z98rG>

モスクワで木曜、露日戦略対話の新ラウンドが始まった。ロシア側はウラジーミル・チトフ外務次官、日本側は杉山晋輔外務次官が代表を務める。「今後の二国間の重要イベントを念頭に中断を解き、戦略対話を再開する」と開会に際し、チトフ氏。

ロシア外務省によれば、国際部門では2016～2017年の日本が安保理非常任理事国となることなど国連における、またはその他の国際的枠組みにおける、グローバルまたは地域的な喫緊の課題の解決における協力拡大の可能性に力点が置かれる予定。

共同通信によれば、戦略対話では露日協力の具体的な討議や平和条約締結問題だけでなく北朝鮮の核・ミサイル開発やシリア情勢についても意見交換が行われる。日本側は12月にプーチン大統領が訪日するのを前に平和条約問題で進展を見たいところだ、と共同通信。

<http://sptnkne.ws/czae>

## スコットランド抜きで Brexit へ？

(スプートニク 2016年10月13日 21:51)

© Fotolia/ Aloha2014 <https://goo.gl/rNhIQH>

スコットランド独立を問う新たな国民投票は Brexit、つまり英国のEU離脱前に行われる可能性がある。スコットランド自治政府の首相でありスコットランド国民党（SNP）党首のニコラ・スタージョン氏が同党大会で木曜日に述べた。英国は来年3月、EU離脱の手続きを正式に始め、プロセスは2年ほどかかる。スタージョン氏は演説中に次のように述べた。

「新たな国民投票についての法案草案を用意するよう、私がスコットランド自治政府に指示したことを知っていますね。そして私は、英国のEU離脱までにスコットランドが独立問題を解決することが、スコットランドの利益を守る最良の方法となるのならば、それを目指します。」

スタージョン氏は、英国のEU離脱決定は根本的に状況を変え、与党である保守党の行動は情勢を



さらに深刻化させたと強調した。スタージョン氏は次のように述べた。

「統一経済空間の外にある孤立した、投資と雇用拡大の可能性を失った国、これは、スコットランドが2014年に残留することを決めた国ではない。」

<http://sptnkne.ws/czag>

## ロシアで世界に類例のない無線電子兵器実験

(スプートニク 2016年10月13日 21:46)

© Sputnik/ Pavel Lisitsyn <https://goo.gl/tQMw4f>

ロシアで開発された新たな物理原理にもとづく世界に類例のない無線電子兵器の初の実験が成功裏に行われた。開発元の「統一機器製造社」広報が武器展「アルム・ハイテク 2016」でスプートニクに述べた。

「すでに実物が製造されており、効果を示している。全く新しいタイプの武器であり、国内はおろか、世界にも類例がないと自信をもって言える。」

特性は、従来型の攻撃手段、弾薬を使わず、指向性エネルギーによって敵側の危機を無力化する点であるという。「この兵器は搭載機器、航空機、無人機に非直接的な物理的作用を及ぼしハイテク兵器を無効化する」という。

なお先に伝えられたところによると、ラヴロフ外相はCNNテレビからのインタビューに答え、カリニングラードでの兵器の配備について、これはロシアは自国領内で行動していることであり、原因は米国は東欧への兵器配備を行なっているからだと言った。

<http://sptnkne.ws/cyRh>

## タイ国王逝去にロシアは深い哀悼の意、露外務省

(スプートニク 2016年10月13日 22:18)

© AFP 2016/ Joel Saget <https://goo.gl/No3bvz>

ロシアはタイのプミポン国王の逝去に深い哀悼の意を表している。ロシア外務省のマリヤ・ザハロヴァ公式報道官は13日、次のような声明を表した。

「タイ国王の逝去という大変悲しいお知らせが入ってきました。タイ国民に深い哀悼の意を示したいと思います。あらゆるレベルでタイおよびタイ国民に対する心からの同情を表しており



ます。」

<http://sptnkne.ws/cyJt>

## 日本、アフリカの自衛隊拠点拡張へ

(スプートニク 2016年10月13日 23:29)

◦ AP Photo/ Koji Sasahara <https://goo.gl/bNaKw0>

日本はジブチにある自衛隊の海外拠点を拡張する意向だ。土地の追加借用についての話し合いが日本とジブチ政府間ですでに数ヶ月行われており、来年には拡張が始まる可能性がある。日本政府はこれを、東アフリカでテロが激化した場合に日本国民を守る必要があるためと説明している。

1946年に制定された憲法に則り日本は国際紛争を解決する手段としての武力の行使を放棄しているにも関わらず、軍隊を保有している。軍は自衛の役割を果たしており、そのおかげで安倍首相は毎年より一層の権限を手に入れていっている。ジブチで自衛隊は、スエズ運河からインド洋へのルートで最も危険な場所の一つとなっている、アデン湾の海賊対策行動に参加している。

先にベトナム外務省の報道官は、同国は外国政府がベトナム領内に軍事基地を建設することを許さないと、ハノイでの記者会見で述べた。

<http://sptnkne.ws/cyKN>

## なぜボブ・ディランがノーベル賞を受賞？

(スプートニク 2016年10月13日 23:22)

◦ REUTERS/ Ki Price/Files <https://goo.gl/hKF4Dj>

スウェーデン・アカデミーのサラ・ダニウス事務局長は、ノーベル文学賞を受賞したのがボブ・ディラン氏であることを批判する専門家が出ないことを願っている。

ダニウス事務局長によると、ボブ・ディラン氏は、英語圏の伝統の中で偉大な詩人であり、常に自分自身を刷新し、新しいアイデンティティを作成している。

ダニウス事務局長は次のように説明した。

「選択は予想外に思えるかもしれないが、もし長い時を振り返ると、ホメロスとサッフォーが見えるでしょう。彼らは、音楽のもと、もしくは劇場の中演じられる必要のあった詩的テキストを書いていた。これは、ボブ・ディラン氏の場合も同様だ。我々はだって、今に至るまでホ

メロスとサッフォーを読み、私達にはそれが気に入っている。我々はディランを読めるし、読まないといけない。」

木曜日 13 日、スイス・アカデミーは「偉大な米国の歌の伝統の中で新たな詩的表現を作ってきた」として、ボブ・ディラン氏をノーベル文学賞受賞者に選考した。

ボブ・ディラン氏は、ロック音楽のカルト的人気を誇る人物で、現代の音楽家の中で最も素晴らしく、人気のある者の 1 人。自らのキャリアでディラン氏は 9 つのグラミー賞、ゴールデングローブ賞、オスカー賞を受賞してきた。

<http://sptnkne.ws/cyQ3>

### ウラジオストクに日本のホテルが初登場

(スプートニク 2016 年 10 月 13 日 23:51)

© Sputnik/ Vitaliy Ankov <https://goo.gl/5G2ayj>

国内 50 のホテルを持つ日本のホテルチェーン、「ホテルオークラ」がロシア、ウラジオストックでのホテル建設を検討している。ホテルオークラの代表取締役社長荻田 敏宏氏が、日本経済会と沿海州のセルゲイ・ネハエフ副知事の会談で述べた。荻田氏の次の言葉を、沿海州政府のプレスサービスが伝えた。なお、発言はロシア語からの翻訳。

「我々のチェーンにはいくつかのブランドがある。独自の点は、自前のレストランにある。各『ホテルオークラ』には和風、中華、洋食のレストランが有る。我々はこれを重要と考えており、企業理念は『Best ACS (最高の設備、最高の料理、最高のサービス)』だ。我々はウラジオストックでのホテル建設という案に興味を持っており、我々は適した土地を検討する用意がある。」

<http://sptnkne.ws/cyQ7>

### プーチン大統領、スプートニクのインタビューで「ロシアはオープンな経済空間に賛成」

(スプートニク 2016 年 10 月 14 日 07:12)

© Fotolia/ Andrey Burmakin <https://goo.gl/IbHEHW>

プーチン大統領が 15～16 日、インドを訪問する。大統領府によれば、モディ首相との会談や、第 8 回 B R I C S サミットへの参加が予定されている。サミット後には「ゴア宣言」が採択され、今後の協力における優先順位が策定され、その他、一連の経済・金融・人道協力について重要合意が結ばれる見込みだ。これを前にスプートニクおよびインドの I A N S 通信が露印関係や B R I C S

サミットへの期待についてプーチン大統領に聞いた。

「インドはロシアにとり特段に優遇されている戦略パートナーだ。両国協力は強固な友情・信頼・相互尊重の伝統をもとに全面的に発展している。ロシアとインドは戦略的安全と安定の保障、公正な秩序の構築における同盟者だ。我々は主導的な多国間統合体であるBRICS、G20、国連で緊密な協力を進めている。」とプーチン大統領。

またプーチン大統領は「インドはこれまでもこれからもロシアの重要な貿易相手だ」と述べ、両国間の貿易関係の重大性を強調した。またインドとの軍事協力も今は重要性を帯びている。共同プロジェクトの中には超音速誘導ミサイル「ブラモス」の開発や、新型の第5世代戦闘機の開発などが挙げられる。またプーチン大統領はBRICSにおけるインドとロシアその他の国の協力の重要性を指摘。

「BRICSは形成過程の多極世界の枢要エレメントの一つだ。その参加国は一貫して国際法の基本原則への忠実性を確認し、国連の中心的役割の強化に努めている。諸国は他国に対する力による圧迫や意図的な転覆を容認しない。我々はシリア危機や中東和平など喫緊の国際問題について協調的アプローチをとっている」とプーチン大統領。

またプーチン大統領は世界経済の統合プロセスについて次のように述べた。「世界経済および金融では困難な状況が続き、なおグローバル金融危機の影響が克服できていない。この関連で、一部の国が保護主義的な政策によって、環太平洋ないし環大西洋貿易協定のごとき閉鎖的で不透明なもの創造の試みによって蓄積した問題を解決しようとしていることは遺憾の念を呼ぶ。ロシアもBRICSのメンバー国も非排他的でWTO原則にもとづいたオープンな経済空間の創設を忠実に目指している」。

また国際安全保障における協力という意味でもBRICSゴアサミットへの期待を示したプーチン大統領。「今度の会合は重要国際問題について、いわば時計の針を合わせるよい機会だ。我々はテロリズム、麻薬取引、汚職撲滅における協力について、紛争解決への共同寄与、国際情報安全保障について協力する決意に満ちている。世界経済に残存する不安定性に我々皆が不安を覚えている。パートナー諸国とともにこうした脅威の前に今後我々が団結していくために何をすればよいかを考える所存だ」とプーチン大統領。

<http://sptnkne.ws/cyQ9>

## **ハーグ仲裁裁判所判決後の南シナ海：中国は交渉する準備があるが、米国にはない**

(スプートニク 2016年10月14日 08:59 エフゲーニヤ・モイセーエワ)

© AFP 2016/ STR <https://goo.gl/XMwq6Z>

南シナ海における中国とフィリピン間の紛争はこの10年で最大の国際紛争であろうが、それに

関して7月中旬、ハーグ仲裁裁判所が判決を下した。中国はすべてのポイントで敗北。その領土権の主張は不法と見なされた。この出来事は政治的な地震となった。ゆえに、3ヵ月経っても国際社会が不可逆的な地殻変動が発生したかどうかを把握しようと地域の政治情勢のわずかな変化にも監視をし続けていることは驚くべきことではない。

南シナ海はいま地球上で最も危険な場所の一つであると言っても過言ではない。海域に米国のグローバル覇権の運命がかかり、新たな超大国としての中国の野心の強さがテストされている。ハーグ仲裁裁判所の判決後はさらに南シナ海において第二次世界大戦後に形成された国際法のルールに基づく国際的な安全保障システムが継続されるかどうかという世界的な問題も持ち上がっている。

ロシアは何十年もの間、伝統的に、ベトナム、マレーシアなどのASEAN諸国との連携を維持してきた。「東方転換」後は中国が地域どころか世界全体でロシアの最重要なパートナーとなっている。したがって、ロシアの戦略的利益にかなうのは、南シナ海を含め、東南アジアの平和な状態が維持され、安定性と協力が維持されることだ。

ロシア科学アカデミー東洋学研究所で10月7日、「ハーグ国際仲裁裁判所判決後の南シナ海状況」と題する学術会議が開かれた。南シナ海、東南アジアに関わるロシアの科学者が大勢参加した。

予想された通り、判決に対する中国当局との公式メディアの反応は、全否定であった。

ロシア科学アカデミー極東研究所東南アジア・オーストラリア・オセアニア研究所長で歴史学博士のドミートリイ・モシヤコフ氏は報告で、判決から3ヵ月経ったが情勢は緊迫化しておらず、紛争の全当事者、中国さえ、妥協の模索をめざす交渉の推進に前向きな姿勢を示している、と指摘した。同氏はまた、紛争に直接関係している当事者は抑制的なのに、むしろ紛争に直接関与していない国々、特に米国、日本、オーストラリアが、当事者よりはるかに強硬な声明を出し、裁判所の決定の履行義務を主張している。

同氏はロシアの立場を評価し、一貫してロシア側が維持している中立性は、状況全体に影響を与える重要な要因となっており、その安定化に貢献している、と強調した。ロシアは、世界のほとんどの国のように、力を使用せずに南シナ海問題を平和的に解決することを支持した。

しかし同氏は米国の立場を地域の不安定要因として評価した。現在進行中の南シナ海における米軍のプレゼンスの急速な増大は受け入れられない、とモシヤコフ氏。会議の他の参加者らも氏の立場への連帯を示している。サンクトペテルブルク国立大学極東史学部長でホーチミン研究所長、歴史学博士のウラジーミル・コロトフ氏は、米国と中国のライバル関係は、地域の関係構造全体に極めて否定的な影響を与え、深刻な紛争の脅威を作り出していることを強調した。また、氏によれば、米国は今、既存のパワーバランスの破壊者としての役割を果たしている。超大国間のグローバル対決において地域諸国は単なるエキストラに過ぎず、中米紛争の過熱は地域にとり非常に危険であると警告した。

会議参加者の総合的な結論は、ハーグ仲裁裁判所の決定は期待されていたよりも地域の状況によ

り多くの肯定的な影響を与えている、ということだ。対話への用意があるという中国の声明や中国との妥協の可能性についての新フィリピン大統領の声明、フィリピンと中国双方の代表者による香港における最近の交渉は慎重な楽観論を生じさせる。同時に、南シナ海問題の解決は米国にとって不利益であり、米国は今の和平交渉への傾きを頓挫させることを試みるだろう、という点も、誰も軽視してはいない。

状況が軍事的に過熱化した場合には、裁判所の決定などただの紙くずに過ぎなくなってしまう。

<http://sptnkne.ws/czav>

### **インディペンデント紙、英国の中東政策は偽善と批判**

(スプートニク 2016年10月14日 16:59)

© AP Photo/ Ebrahim Noroozi <https://goo.gl/FbMkzM>

英国のジョンソン外相がロシアのシリアでの行動を指して表した声明は英国の中東政策の偽善性を浮き彫りにした。コラムニストのアンドリュー・スミス氏がインディペンデント紙にこうした記事を寄稿した。スミス氏は、英国政権にはシリアの空爆の真相調査を呼びかける権利はあるが、これと全く同様のことはイエメンに対しても行なうべきだと主張している。

先日、イエメンで連合軍が行なった空爆では死者140人以上、負傷者500人以上の犠牲者が出たものの、これに対してはジョンソン英外相はツイッター上に声明を表し、民間人を対象にした爆撃を中止し、真犯人を明らかにするよう呼びかけるに留まっている。かなり抑制の聞いた反応がなされた背景には英国はすでに長年にわたってサウジアラビアに政治支援を行ってきた事実がある。

ジョンソン英外相は10月11日、シリアで戦争犯罪を行なったとしてロシアを非難した上、ロンドンのロシア大使館前でデモ行動を行なうよう呼びかけた。ロシア国防省は非難を事実無根として退け、ジョンソン英外相の声明は「ロシアを嫌悪するヒステリー」と呼び、これらを確認する証拠を提出するよう提案している。

<http://sptnkne.ws/czgp>

シリア大統領、状況は冷戦に酷似、だが第3次大戦の匂いも漂う

(スプートニク 2016年10月14日 18:24)

© AP Photo/ <https://goo.gl/whKo0M>

シリアのアサド大統領は現在の世界の状況は冷戦に近いとする一方でグローバル紛争に突入する恐れも感じられるとの見方を表している。アサド大統領はロシアの新聞「コムソモリスカヤ・プラ

ウダ」紙からのインタビューに答え、次のように語っている。

「第3次世界大戦について言えば、このタームは、特にシリア情勢に絡んで状況がエスカレートした後に特に頻繁に使われるようになっている。今、その状況は展開の段階としては冷戦に似ているように思える。これはつい最近に出現したものでは全くない。なぜなら西側、特に米国はソ連が崩壊した後でさえも冷戦を止めなかったからだ。」

アサド大統領は「シリアはその戦争の一部に過ぎない」と語っている。

「誰が今シリアの事態に介入しているかということは意味を成さない。一番重要なのはテロリストを毎日、時間刻みで支援している奴は誰かということだ。これが最たる問題だからだ。」

アサド大統領はさらに、ロシアとその政策を信用しているとし、その理由をロシアの政策がまずモラルに土台をすえているためと指摘している。

「我々は彼ら（ロシア）が支援するのはテロ撲滅のためだと知っている。何かを引き換えに要求するためではない。この瞬間まで彼らからは一切何も要求されていない。こうした事実の全てから私もシリア政府もロシアへ支援要請をする気になったのだ。」

アサド大統領はまた、イスラム急進主義者らとの戦いに勝つためにはまず、こうした者たちを世界中に押し出しているサウジアラビアの資金援助を絶つことが最優先と強調している。また「イデオロギーに染まった戦闘員」を相手にこれに勝つ唯一の方法については、アサド大統領は相手の殲滅をおいて他にないと断言し、その理由是对話のための時間はなく、一般住民の命を守るほうが先決と説明している。

先に伝えられたところでは、プーチン大統領は、シリアにおけるロシアの目的を語った。

<http://sptnkne.ws/cz6M>

## 日本、南京大虐殺の件でユネスコへの分担金支払い停止

(スプートニク 2016年10月14日 21:15)

© AP Photo/ Alexander F. Yuan <https://goo.gl/qls0jD>

日本は国連教育科学文化機関（ユネスコ）への分担金支払いを停止する。岸田文雄外相が記者らに語った。外相によると、日本政府はまだユネスコへの年次分担金を振り込んでいないが、問題はなお開かれている。

メディアによれば、停止の理由は、中国の提案によりユネスコの記憶遺産に登録されることが決まっていたいわゆる南京大虐殺（1937年、日本占領軍による南京での出来事）であるという。日本政府

の措置はユネスコの活動に深刻な影響を与える可能性がある。日本はユネスコへの主要資金提供国であり、その予算の11%をカバーしている。日本側は今年ユネスコに38.5億円を振り込むことになっていた。

先に伝えられたところでは、日本はアフリカにある自衛隊の海外拠点を拡張する意向だという。

<http://sptnkne.ws/czhM>

### **語らぬは黙認なり、西側の報道はアレッポの学童らの死を無視**

(スプートニク 2016年10月14日 18:43)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/80xjdb>

シリア政府軍の掌握するアレッポ近郊で地元の学校に通う児童7人が死亡、10人が負傷。この悲劇的事件に西側のマスコミは見てみぬふりを決め込んだ。理由は、事件が「悪の化身」がアサド大統領に集約されるシリアという西側の描く世界地図にはなんとも当てはまらないからだ。

これだけの規模の悲劇であるにもかかわらず、また西側のジャーナリストは負傷した児童の入院先の病院へも事件の現場にもアクセスが可能であるにもかかわらず、事件は西側のマスコミにはほぼ取り上げられなかった。

在米のロシア人エキスパートで現在「ニューヨーク・コンサルティング・ビューロー」の社長を務めるニコライ・パホモフ氏はスプートニクからのインタビューに答え、事件に対する西側の報道について「今日見た、そして読んだニュースには一切取り上げられていない」と語っている。

こうした一方で、西側の報道には代替的な視点が一切ないとは言い切れない。パホモフ氏は「事はそう単純なものではなく、アサド氏の敵対者もおびただしい数の犯罪を犯しているという情報は、治安維持機関のレポートにも専門家の見解にもマスコミにも現れている」と語っている。

<http://sptnkne.ws/cz6R>

### **金正恩氏が死亡しても今ある問題は変わらず、むしろはるかに大きな問題が始まる**

(スプートニク 2016年10月14日 18:28 リュドミラ・サーキャン)

© REUTERS/ KCNA <https://goo.gl/dXH6up>

韓国は北朝鮮が第6回目の核実験を行うと見て備えを進めている。2017年1月にははじめて国レベルで盛大に金正恩氏の誕生日が祝われるとの情報がある。韓国は北朝鮮軍がリーダーへの「プレゼント」を準備していると見ている。前回9月9日を含め、これまでの5回の核実験が行われてき



た場所では活発な活動が見られることが衛星諜報で示されている。

10月初頭、韓国国防省は議会においてKMP R（韓国：大規模懲罰・報復）なる理念を打ち上げた。「北が核攻撃を準備しているとの情報が入れば指導部の避難所と考えられる場所を含め、平壤全区域に壊滅的攻撃を加える。このような徹底的攻撃で指導部全体が排除されれば北朝鮮はたとえ核攻撃力を保持したとしても国家としては消滅する」と国防省の情報を韓国メディアが伝えた。破壊対象は軍司令部全体、核施設、ミサイル基地、つまりは北朝鮮を危険なものとするすべてである。もちろん、それは最悪なシナリオにおいてのみとられる措置である。

理論上、これは北朝鮮侵攻と金正恩氏排除の計画である。「金氏は自身の命に直接的な危険をひしひしと感じるべきだ」と韓国のパク大統領。大統領は、自己の生存本能により、金氏は政策を見直し、核・ミサイル開発を停止すると期待している。

極東研究所朝鮮研究センターのコンスタンチン・アスモロフ氏は語る。

「これは心理的圧迫だ。リアルに考えるなら、金正恩氏の死によって今ある問題は終わらず、むしろはるかに大きな問題が始まる。北朝鮮の核施設が爆撃されると2時間後には放射線がウラジオストクに到着する、という側面がある。北朝鮮にいかなる破局が、内戦が、人道危機が起こることも、ロシアにとっても中国にとっても望ましくないのだ。ロシアと中国の調整された立場に韓国と米国の抑制的な姿勢が加わればそうしたシナリオは回避されたい。また、北朝鮮と、米国および韓国を代表とする敵方のパワーバランスを考えると、南を攻撃することは北にとって自殺行為である。核を使うなら二重の自殺行為だ。金正恩氏に自殺願望がある性格異常者という診断を下すには及ばない。」

今週始まった大規模米韓合同軍事演習「インヴィンシブル・スピリット2016」はKMP Rシナリオに沿っている。15日までの演習では韓国海軍の軍艦40隻、原子力空母「ロナルド・レーガン」を含む米国第七艦隊攻撃部隊が参加。たとえば軍艦からの無予告高精度誘導ミサイル先制発射などが訓練される。またアラスカで行われる米、日、韓の演習では、地下施設や地対空ミサイル装置、早期警戒レーダーや地上軍用インフラを含む高防御施設への空爆における空軍の活動が訓練される。

空爆は北朝鮮内の特殊部隊の突破をも予定している。上陸部隊基地としては日本海の鬱陵島が予定されている。海兵隊員らの配置は「攻撃的性格のもの」とされている。来年はそこで必要インフラの構築が始まり、演習も行われる。2018年には韓国軍司令部が島に海兵隊攻撃部隊を常駐配備する予定。部隊は緊急時に北朝鮮東海岸に上陸し、領土の奥深くへ侵攻していくものだ。

もちろん、繰り返すが、こうした武力の使用は北朝鮮が核ミサイルを軍事使用する用意をしているという情報が入ってはじめて行われる。しかし、北朝鮮が軍事目的で発射するのか、それとも演習なのか、どちらを考えているかをどうやって客観的に評価できるというのだろうか？

<http://sptnkne.ws/czjm>

## 「アエロフロート」ジュネーブ-モスクワ便、爆破予告受け無人で飛行

(スプートニク 2016年10月14日 18:42)

© Sputnik/ Maksim Blinov <https://goo.gl/7IUSx1>

ジュネーブとモスクワを結ぶ「アエロフロート」2381便が爆破予告を受けジュネーブで検査を受けた後、無人で離陸した。リア・ノーヴォスチが伝えた。

予告者は警察に拘束された。取り調べでインド人の犯人は、無料チケットの提供を拒否されたため腹を立て、すでにモスクワへのフライトを待っていたほかの乗客らを驚かせるため、ジュネーブで「アエロフロート」機に爆弾を詰めたと述べた。

予告を受け検査された便は乗客なしでジュネーブを発ちモスクワに向かった、と金曜「アエロフロート」で通知された。

先に伝えられたところでは、日本の三菱航空機が開発する国産旅客機「MR J」がテスト飛行中に能登空港への予定外の着陸を行っていたことが明らかになった。

<http://sptnkne.ws/czkh>

## EUはTTIPのために米国の前にひざまずくことはしない-欧州委員会委員長

(スプートニク 2016年10月14日 20:00)

© AFP 2016/ Emmanuel Dunand <https://goo.gl/C4i6ds>

EUは大西洋横断貿易投資パートナーシップ協定（TTIP）の締結のために米国の前にひざまずくつもりはない。木曜、欧州委員会のジャン=クロード・ユンカー委員長が述べた。「交渉は行われているが、我々は米国の前にひざまずくことはしない。欧州の成功を支えてきた原理をすべて放棄するようなことはしない」。ベルガ通信が伝えた。

TTIPについてEUは米国と2013年7月から交渉を行っている。米国の計画ではオバマ大統領の任期が切れる今年11月までに交渉を締結することになっていた。米国は交渉妥結への意欲を捨てていないが、EU側はこの目標は不可能であると公式声明で言っている。

欧州ではエコロジー、法と雇用の分野における標準が侵害されるとの懸念からTTIPに対して多数の抗議が行われている。

<http://sptnkne.ws/czkX>

## ウィキリークス、ヒラリー・クリントン氏の威嚇「中国をMDで囲め」を暴露

(スプートニク 2016年10月15日 03:13)

© AFP 2016/ Daniel Mihalescu <https://goo.gl/qMRrCa>

ウィキリークスは民主党のヒラリー・クリントン米大統領候補が国務長官時代、中国が朝鮮民主主義人民共和国の核プログラムを抑えることができないのならば、「中国をMDの輪に入れてしまえ」と威嚇していた事実を示す文書を暴露した。

A P通信によれば、ウィキリークスの公開した書簡にはクリントン氏の非公式的なスピーチの断片も含まれている。

「我々は中国をMDでリング状に囲んでしまおう。このゾーンに米艦隊の船を多く配備しよう。それでどうだ、中国よ！ 中国があいつら（北朝鮮）をコントロールするのか、それとも我々が自分で防衛せざるをえないかだ。」A P通信は2013年に行なわれたクリントン氏の演説の一部を引用して報じた。

当時クリントン氏は、北朝鮮の弾道ミサイル発射実験が成功した場合、その脅威は太平洋地域における米国の連合国に対するものにとどまらず、「ミサイルは本当にハワイ諸島まで、理論上は西海岸まで到達しうる」と語っていた。

2016年9月、クリントン氏は再度中国に対し、中国政権が北朝鮮に非核化するよう圧力を講じない場合、てMDシステムを極東地域に拡大するとして威嚇している。

先に伝えられたところによると、米国は欧州でミサイル防衛システム発展計画を実現しているが、同システムがロシアに向けられたものではないという保証を提供していない。実際のところ同システムはロシアの安全保障に直接的な脅威をもたらしている。

<http://sptnkne.ws/cznm>

## 日本に続きイスラエルもユネスコとの協力を一時停止

(スプートニク 2016年10月14日 21:32)

© Flickr/ David Poe <https://goo.gl/wrIaai>

イスラエル、エルサレムの聖地に関するユネスコ決議採択後、ユネスコとの協力を一時停止した。イスラエルのベンネット教育相はユネスコのイリナ・ボコヴァ事務局長に対し、ユネスコがユダヤ民族とエルサレムの数千年にわたる関係を無視しているとする抗議状を送った。

ベンネット教育相はまた、ユネスコは「イスラム主義者らのテロ」を支持しているとしてこれを非

難している。ベンネット教育相はイスラエル国家ユネスコ交流委員会の委員長も兼任しており、委員会にはユネスコとのあらゆる相互関係を一時停止するよう通達している。現地のハアレッツ紙が報じた。

13日、ユネスコの24人のメンバーは「占領されたパレスチナ」決議を支持。決議にはエルサレムの聖地にイスラム教徒は入れないことが非難されている。イスラエルはこの決議を侮辱と受け止めた。ハアレッツ紙は決議文には聖地の名称がイスラム教上の表記で記されているほか、ユダヤ民族にとって重要な記念碑が記されていないと指摘している。

先の報道では、日本は国連教育科学文化機関（ユネスコ）への分担金支払いを停止した。

<http://sptnkne.ws/czps>

## ベトナム「三つの否」政策

(スプートニク 2016年10月15日 03:55)

© AP Photo/ <https://goo.gl/Wc1lpu>

13日、ベトナム外務省のル・ハイニン大臣は、ベトナムは「いずれの国がベトナムに軍事基地を展開することも」許さない、と宣言した。

かつてソビエト軍事基地があったキューバとベトナムに基地を取り戻す可能性をロシア国防省が検討しているというロシアメディア報道の議論が背景にある。たとえば先週同省のニコライ・パンコフ次官は述べた。ロシア外務省高官（匿名）はスプートニクに次のように述べた。

「ベトナム外務省の声明に何ら新しいこと、センセーションはない。ロシアは2002年、カムラニから基地を引き上げた。当時からベトナムはもう外国の軍事基地は設置されないと宣言していた。その後も一貫してそう宣言し、今回も、しかるべきインフラが国の利益のために利用されると宣言した。我々はその立場に準じる。ベトナムにロシア軍を復帰させることを省として検討中というロシア国防次官発言は驚きだ。」

一方、政治学者のウラジーミル・コロトフ教授はスプートニクのインタビューで述べた。

「ベトナムは国益擁護といういつも通りのパラダイムで行動している。数年前ベトナム指導部は、外交は「三つの否」を原則とする、と述べた。領土に外国人基地なし、ベトナムの軍事ブロックへの参加なし、第三国に敵対するいかなる同盟にも参加しない、というものだ。既にそうしたベトナムの国家主権強化をめざす政策が数年にわたり続いており、それが米軍基地のあるタイやフィリピンなど他の近隣諸国に対するベトナムの強みになっている。ベトナムにはいずれの外国軍事基地もない。カムラニのインフラは外国の軍艦を受け入れるのに使っている。修理のためにロシアの軍艦が入り、備蓄を追加し、かと思えば米国その他の国の軍艦も、ベトナムとの合意のもとに寄港する。

センセーションは全くなく、すべて通常運転で行われている」。

<http://sptnkne.ws/cz7b>

## ロシアは自国MDのトルコへの供給を検討

(スプートニク 2016年10月14日 23:29)

© AFP 2016/ US Air Force/Joe Davila <https://goo.gl/G5sDeX>

先日イスタンブールで実施されたプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領の会談では露土間の軍事技術協力がテーマに取り上げられ、トルコ側に関心がある場合、ロシアの様々なMDの供給を行なう可能性が話し合われた。ロシア大統領府のペスコフ公式報道官が明らかにした。

「MDの様々なシステムや、トルコ側が希望する場合はロシアがその供給を検討する可能性が取り上げられた。」ペスコフ報道官はアルメニアの首都エレバンでインターファックス通信からの質問に答えた中でこう語った。

<http://sptnkne.ws/czqx>

## 英紙：EUはシリア情勢を理由にロシアに制裁を課す米の決定を支持しない

(スプートニク 2016年10月15日 15:39)

© AFP 2016/ Stringer <https://goo.gl/ViqEAa>

米大統領行政府は、シリアにおける自分達の政策見直しを計画しているが、ホワイトハウスは、ロシアとの軍事衝突をもたらす可能性のある措置は取らないだろう。英国の新聞 The Guardian は、外交筋の情報を引用して伝えた。

また新聞は、次のように続けている—

「それゆえシリアにおける米国の政策見直しのもっともあり得る結果は、ロシアに対する新たな制裁、個人に向けられた制裁の導入である。そうした措置は、米国の側から講じられる可能性があるが、EUは、おそらく、そうした決定を支持しないだろう。」

さらに新聞は、匿名のEUの外交官の言葉として「新たな制裁導入？ EUがそうしたことに関心を抱くとは思えない」との発言を引用した。

新聞はまた、次のように付け加えている—

「今年 12 月、EU は、ウクライナ情勢を理由にロシアに対し効力を持っている制裁に関し決定を下すだろう。制裁が延長されるかどうかは、ロシアの対抗制裁措置が個々の EU 諸国にもたらした損失を考慮するならば、疑問である。」

<http://sptnkne.ws/cz9Y>

## **Fitch ロシアの信用格付け予想を引き上げる**

(スプートニク 2016 年 10 月 15 日 18:10)

© Sputnik/ <https://goo.gl/ki9C5d>

国際的な格付け会社 Fitch Ratings は、ロシアのソブリン信用格付け予想を「ネガティブ」から「安定的」にまで引き上げた。投資適格レベルの最後の段階 B B B の格付けが確認された。

Fitch Ratings の専門家らは「ロシアは、原油価格の急激な落ち込みに対応する首尾一貫した着実な政策をとった」と指摘している。また柔軟な通貨レートや金融セクター支援策なども指摘されている。

ロシアのアントン・スィルアノフ財務相は、格付け予想が引き上げられたことに満足感を表し「我々は、ロシアのソブリン格付け予想を『ネガティブ』から『安定的』に引き上げた Fitch の決定を歓迎する。ひと月足らずの間に『ビッグスリー』のうちの 2 つ目の格付け会社が、ロシアの格付けを上げる決定を下した」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/czUQ>

## **ロシア 最新型 S-400 をインドに供給**

(スプートニク 2016 年 10 月 15 日 23:51)

© Sputnik/ Mikhail Mokrushin <https://goo.gl/Hj7vSm>

ロシアとインド両政府は、最新型の S-400 型機のインドへの供給に関する合意書に調印した。なお調印式は、プーチン大統領とインドのモディ首相との会談を総括する形でゴアで行われた。

またロシアとインドで軍艦を共同で建造することに関する政府間合意や、情報コミュニケーション技術使用領域での安全保障において両国が協力する合意にも調印がなされた。

それ以外に、ヘリコプター KA-226 T を生産する合弁企業設立に関する合意、さらには「ロスコスモス」と「インド宇宙研究組織」との間の地上基地相互配置についての相互理解に関するメモランダムにも調印がなされた。なおこの基地は、ロシアのグロナス・システムとインドの衛星ナビゲーター

ションシステムの測定値を収集することになる。

先に伝えられたところ、ロシアは自国MDのトルコへの供給を検討している。

<http://sptnkne.ws/czDC>

## ウクライナ 対ロシア制裁延長を忘れる

(スプートニク 2016年10月15日 19:23)

© Sputnik/ Mikhail Markiv <https://goo.gl/cVMGLE>

ウクライナ最高会議のセルゲイ・レンチェンコ議員は「ウクライナ政府の対ロシア制裁の効力は、9月に切れた」と指摘した。彼は、この事を Facebook の中で伝えた。

それによれば「2015年9月16日のポロシェンコ大統領令により、1年間の制裁が導入された。つまり先月16日には、制裁は終わっている。すでにひと月、制裁更新に関する大統領令は存在していない」。またレンチェンコ議員は「米国は対ロシア制裁を維持し、カナダもEUも続けているが、ウクライナはそうではない」と付け加えた。

議員の意見によれば、制裁措置延長が放棄されたのは、汚職そして「制裁下に置かれる資産を安く入手できる可能性」と関係があるとのことだ。

昨年9月16日、ウクライナは388人の個人及び105の法人に対し1年間の制裁を導入した。そのリストには、ロシアの政治家、官僚、軍人、司法、マスコミ関係者、文化人などが含まれている。またロシアの銀行や航空会社なども制裁対象とされた。

<http://sptnkne.ws/czE2>

## バクダッドでのテロ事件で55人死亡

(スプートニク 2016年10月16日 00:30)

© AP Photo/ Karim Kadim <https://goo.gl/eb99m8>

イラクの首都バクダッドのイスラム教シーア派地区でテロ事件があり、55人が死亡、50人以上が負傷した。土曜日、15日、ロイター通信が首都の警察及び救急隊の情報として伝えた。「アシュラ」のセレモニーが行われ、信徒でいっぱいだった大きなテントの内部で、自爆テロ犯が爆発物を始動させた。

「アシュラ」は、12世紀に活躍した、預言者ムハンマド (Mohammed) の孫に当たるフセイン師 (Imam



Hussein) の死を悼む日で、シーア派にとって最も重要な祭日の一つである。

<http://sptnkne.ws/czUR>

## **ロシア議会上院、ロシアに対するサイバー攻撃をめぐる米副大統領の脅迫についてコメント**

(スプートニク 2016年10月15日 21:35)

© Sputnik/ Vladimir Fedorenko <https://goo.gl/sY2s49>

ロシア当局ポータルの情報保護はロシア国家安全保障の紛れもない課題の一つであり、ジョー・バイデン氏の指示などなくとも、ロシアは常にこれに取り組んでいる。ロシア議会上院国防委員長ヴィクトル・オゼロフ氏がスプートニクに述べた。

先に米副大統領ジョー・バイデン氏は、米政権がモスクワを非難しているサイバー攻撃に対しワシントンは「適切な時期」に最大の効果で応答する、と述べた。

米国の諜報部門の消息筋の言葉として同じ頃NBCが伝えたところでは、CIAは政権の指示によって、ロシアへの前例のないサイバー攻撃を準備していると報じた。標的はロシア政府であり、CIAがロシアの最高指導部にダメージを与えるような大量の文書を持っている可能性もあるという。

先にラヴロフ外相は米国は依然としてロシアのサイバー攻撃に関する証拠を提出していないと述べた。

<http://sptnkne.ws/czUT>

## **露米外相、ローザンヌで会談しシリアについて討議**

(スプートニク 2016年10月16日 00:49)

© Sputnik/ Eduard Pesov <https://goo.gl/LHYLg1>

ロシアのラヴロフ外相と米国のケリー国務長官はローザンヌのシリア協議で二国間会議を開催する。ロシア代表団がリアーノーフヴォスチに語った。

ワシントンがシリアに関するモスクワとの両者協力を停止すると発表して以来初の露米外相会談となる。地域の主要国が参加するシリア協議はその後で開催される。

先にロシア外務次官ミハイル・ボグダノフ氏がリアーノーフヴォスチに語ったところでは、両国は停戦体制を再開する可能性を議論する。米国代表団によれば、多国間交渉を総括して共同記者会見が

開かれる予定という。

<http://sptnkne.ws/czK2>

## ロシアの航空母艦 シリア沖へ

(スプートニク 2016年10月16日 00:50)

© Sputnik/ <https://goo.gl/ZFJDFw>

ロシア海軍北方艦隊の大型航空母艦（重航空巡洋艦）「アドミラル（提督）クズネツォフ」は、複数の軍艦に伴われて、地中海の遠洋航海に出発した。情報筋が伝えた。それによれば、航海は4から5ヵ月続く。

空母には、最新鋭戦闘機ミグ 29 及びミグ 29P、そしてスホイ 33 が搭載されている。それ以外に、巡洋艦のため戦闘ヘリコプターKa-52K「カトラン」が用意された。

先に軍事専門家のレオニード・イヴァシヨフ退役大將は「ロシアは地中海に空母『アドミラル・クズネツォフ』を派遣することで、シリア沖の軍事プレゼンスを著しく強化する」と述べ「ロシア政府は、ソ連崩壊後初めて、空母を演習ではなく戦闘態勢で用いる計画だ」と伝えた。

<http://sptnkne.ws/czTK>

## ロシアとインド 共同で第5世代の戦闘機製造の可能性

(スプートニク 2016年10月16日 07:20)

© AFP 2016/ Dmitriy Kostyukov <https://goo.gl/H6wy0p>

「今年末までに、ロシアとインドが共同で第5世代の戦闘機を製造する契約に調印がなされる見込みだ」—インド・ゴアで開かれているBRICSサミットのロビー取材で国営会社「ロステフ」のセルゲイ・チェメゾフ社長が、記者団に明らかにした。

社長は、次のように述べた—

「これは第5世代の飛行機で、インドの企業と一緒に生産する。ある部分はF G F Aに似ているものになるだろうが、それでもやはり独立したもので、新しく近代的な飛行機だ。我々は、事実上、交渉上のあらゆる問題を終え、調印する用意がある。残っているのは公的な手続きだ。今年末までに、この契約に調印できるよう期待している。」

今日ゴアでは、ロシア・インド首脳会談が行われ、インドにロシアの最新鋭戦闘機 S-400 型機を

供給するものなど、一連の合意書に調印がなされた。

<http://sptnkne.ws/czUV>

## 外国人投資家にクリミア半島での活動において制裁を回避する方法が示される

(スプートニク 2016年10月16日 09:23)

© Sputnik/ Artem Kreminsky <https://goo.gl/a0PWdb>

外国人投資家が制裁を回避してクリミアでビジネスを行う方法がいくつかある。「ヤルタ国際経済フォーラム」基金の経営代表で全ロシア公共団体「ビジネスロシア」共同議長アンドレイ・ナザロフ氏が述べた。

イタリアの地方議会議員およびビジネス代表からなる大代表団がクリミアを3日間の日程で訪問している。ヴェネト州、リグーリア州、ロンバルディア州、トスカーナ州、エミリアロマーニャ州の5地域の代表18人から構成されている。

「今日、クリミアの外国人投資家のための先例と図式が存在している。多くの場合、モスクワに会社を創設し、のちモスクワの会社がクリミアに投資するという形でそれはなされる。それは大企業ならではの話だ」とナザロフ氏。

個人のためには別のメカニズムがある。個人投資家らは単に半島で会社を登録し、経済自由区域の下で最大限の利益を得るのだという。「クリミアで活動と生産をし始めている欧州企業にとり、それは競争優位の可能性を与える」とナザロフ氏。

<http://sptnkne.ws/czUX>

## サウジアラビア「イエメンの葬儀会場空爆は誤り」

(スプートニク 2016年10月16日 10:10)

© REUTERS/ Khaled Abdullah <https://goo.gl/3arXdA>

イエメンの反政府勢力との戦いを続けるサウジアラビア率いるアラブ有志連合はサヌアでの葬儀会場空爆の調査結果を発表した。攻撃は誤りであったという。テレビチャンネル「アル・アラビーヤ」が伝えた。

8日の空爆では、国連の統計によると、140人が死亡、525人が負傷した。一部の情報では死亡者数は213人に達している。

「(研究者) チームは、イエメン空軍参謀らが空軍作戦局に送った、サヌアの具体的にどこにフーシの軍事司令部があるかについての情報は誤りであったという結論に達した」と連合声明。

その後、攻撃は「軍事目標」に対するものとして速やかに実行され、決定はイエメン参謀が連合の中央司令部の許可を得ずにとったという。

先に伝えられたところ、イエメン蜂起勢力のシャラフ・ルクマン公式報道官は、米国がイエメン蜂起勢力フーシ派の陣地へ行なった空爆は断じて許し難い行為だと発表した。

<http://sptnkne.ws/czUA>

### **フォーリンポリシー：米国の対ロシア政策は失敗した**

(スプートニク 2016年10月16日 14:28)

© AFP 2016/ Yuri Gripas <https://goo.gl/j1A0or>

国際的な制裁を介してロシアを孤立させようとするワシントンの試みにもかかわらず、ロシアは広い範囲にわたり米国の国益に挑戦状を叩きつけている。あらゆる兆候から、米国の対ロシア政策は失敗したと言える。フォーリンポリシーが伝えた。

ロシアとの関係の新しいモデルの構築は次なる米国大統領の優先事項の一つとなる。しかし、候補者の提示している選択肢は現況の実相を反映していない。

過去30年間の米国の対ロシア政策はその全面的敗北への期待や自陣にロシアを引き込む試みのいずれかによって決定されていた。しかし、新大統領は、多極世界とグローバル化の中で単にロシアを負かすか抑止し単に二次的な役割を行わせることはできないと理解する必要がある。「まず第一に、米国の新アプローチは、ロシアを負かしたり改造したりするのではなく、今のままのロシアと協力することを目指すべきだ」という。

<http://sptnkne.ws/czX8>

### **ロシア国連大使、現露米関係は1973年以来で最悪**

(スプートニク 2016年10月16日 15:36)

© AP Photo/ Seth Wenig <https://goo.gl/Y6uVvg>

ロシアのウィタリー・チュルキン国連大使はAP通信のインタビューで現在の露米関係と冷戦期のそれと比べ、次のように述べた。

「現時点での全体的な状況は私が思うに非常に悪く、おそらく 1973 年以来で最悪だ」。この状況は、「一連の出来事」の結果だとし、チュルキン氏は次のように指摘した。「これはある種の敬意の根本的な欠如と、政治的問題の深い話し合いの欠如だ」。

チュルキン氏は、米国とNATOは、東欧をNATOに加盟させることで、「ロシアを犠牲に」して自らの安全保障システムを構築することを決めたと指摘。同氏はまた、ジョージア（グルジア）とウクライナの加盟が決められた、2008年のNATO総会での「超大規模挑発」について述べた。露米関係の転換点となったのはウクライナのクーデターとそれに続いたドンバスでの紛争だと氏は述べる。

チュルキン氏は、ロシア政府は米国政府との関係修復に関心をいただいていると強調し、「もし米國政権の交代がこれを促進するならば、それは素晴らしいことだ」と述べた。

<http://sptnkne.ws/czWF>

## **BRICS首脳会議開幕、ゴア**

(スプートニク 2016年10月16日 16:26)

◎ Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/BboeUA>

第8回BRICS首脳会議がインドのゴア州で、機構首脳らの合同撮影セレモニーとともに開幕した。ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ共和国といったBRICS首脳らは土曜日すでに非公式夕食会という形で最初の会合を開いていた。その日には2つの合同撮影会を行うことができ、一度目はインドの民族衣装のバンディを着て、そして夕食後にはBRICSのサッカー選手権ジュニアチームのキャプテンたちと写真を取った。

撮影会のあつすぐに、ホテル「タージ エグズティカ」で公式行事が始まる。会談は首脳たちだけで行われ、その後BRICSのビジネス協議会の代表者と会い、国の代表団を交えて本会議が開かれ、その後に合同文書に調印される。BRICS首脳たちはすでに一連の2国間会談を行った。例えば、露印首脳会談が開かれた。

<http://sptnkne.ws/czXE>

## **マスコミ：米駆逐艦にイエメン領で週3度目の攻撃**

(スプートニク 2016年10月16日 16:52)

◎ AP Photo/ Bullit Marquez <https://goo.gl/n5LSLB>

イエメン沿岸の国際海域にいた米軍の誘導ミサイル駆逐艦「USSメイソン」を標的に、再びミ

サイルが発射されるとNBCテレビが2人の米政府筋の情報をもとに報じた。

政府筋によると、攻撃は現地時間の日曜日早朝に起きたとし、駆逐艦を標的に少なくともミサイルが1発発射されたが、駆逐艦は対策を取ったため、損傷はなかったと述べた。どの地点からミサイルが発射されたのかは述べられなかった。

イエメン沿岸にある米駆逐艦への一度目の攻撃が報じられたのは月曜日。米国防総省の報道担当はその時、ミサイル発射はイエメン領を統治下に置くフーシ派によるものだと仮定。しかしフーシ派は駆逐艦攻撃への関与を否定した。二回目の攻撃は水曜日に明らかになり、木曜日には報復として米海軍はイエメンにある3機のレーダーに攻撃を加えた。

<http://sptnkne.ws/czXJ>

### **沿岸警備隊を襲った北朝鮮漁師らをロシアに輸送**

(スプートニク 2016年10月16日 17:17)

◎ Sputnik/ Vsevolod Tarasevich <https://goo.gl/125bGw>

逮捕の際に抵抗し、ロシアの沿岸警備兵を襲った北朝鮮の船員を乗せた、ロシア連邦保安庁の国境警備船が日曜日、沿海州に帰船する。連邦保安庁の地域国境国の報道担当がリアーノーヴォスチに伝えた。

先に報じられたところ、14日、北朝鮮の漁船がロシア沿海州の排他的経済水域で逮捕され、ロシア国境警備隊を襲った際に違反船員9人が負傷し、1人はその後死亡した。また、国境警備艦のメンバーの1人が頭部を負傷した。負傷者には手当が施され、違反船員は国境警備艦に避難した。報道担当は次のように指摘した。「今日中に船は沿海州に着き、そこで裁判が行われる。船上には手当をする船医がいる」。

<http://sptnkne.ws/czXP>

### **BRICS、独自の格付け機関を創設へ**

(スプートニク 2016年10月16日 20:15)

◎ 写真: Russian Presidential Press Office <https://goo.gl/sdNE8f>

ゴアにおける首脳会談でBRICS諸国の指導者らは独自の格付け機関をできるだけ早く創設することで合意した。インドのナレンドラ・モディ首相が述べた。「機関創設が我々共通の努力目標として発表された。BRICSの格付け機関をできるだけ早く創設することで合意した」と拡大フォーマットのBRICS会合で首相が語った。また加盟諸国は農業研究センターを設立とBRIC

S 鉄道ネットワークの構築を加速するとで合意した。

<http://sptnkne.ws/c2bw>

### **韓国大統領：我々は決して北朝鮮と妥協しない**

(スプートニク 2016年10月16日 21:52)

◦ AP Photo/ Chung Sung-Jun <https://goo.gl/6hTVst>

韓国は北朝鮮と一切妥協を模索するつもりはない。先日北朝鮮高官が亡命したのは、金正恩政権の横暴の証左である。

「人々が洪水や経済的困難に苦しんでいるというにもかかわらず、北朝鮮は核兵器やミサイル開発の周りにその活動を集中させ、朝鮮人の平和と未来を脅かし続けている」。北朝鮮からの亡命者向けの体育祭に際して発表されたパク大統領のビデオメッセージで述べられた。聯合通信が伝えた。

「我々は北朝鮮に決して降伏せず、また妥協しない」と大統領。昨日は米軍戦略部隊が北朝鮮がムスダン型とみられるミサイル発射に失敗したと述べた。

<http://sptnkne.ws/c2pH>

### **ローザンヌでのシリア内戦の会談失敗の理由は？**

(スプートニク 2016年10月16日 22:27)

◦ Sputnik/ Valeriy Melnikov <https://goo.gl/EF4KSH>

シリアへの人道援助物資供給問題、前提条件なしの政治的プロセス続行やテロリストと穏健な反政府派を分けることが、15日ローザンヌで開かれた外相会合で話し合われた。しかし、1つとして合意に至ることができなかったとし、エジプト外務省のエジプト外務省のアフメド・アブゼイド報道官が次のように述べた。

「ローザンヌでの会合では3つの主な点が話し合われた。それは、人道援助物資の供給と何らかの前提条件無しでの政治的プロセス続行、テロリストと穏健反政府派を分けることだ。…しかし、会合はいかなる結果も得られず終わり、両者は接触を続けていくことで合意した。」

失敗の原因としてアブゼイド報道官は「ある地域にいる反政府グループへの影響力を失うことを恐れている会談の出席者がいる」と付け加えた。

また、アブゼイド報道官は次のように指摘した。「会談では、どのように停戦を実現するかとい



う問題において意見の相違があった」。アブゼイド報道官によると、会談の出席者は接触を続けていくことで合意した。

<http://sptnkne.ws/c2pJ>

### **プーチン大統領：皆を安心させたい、我々は米国の選挙に影響を及ぼす気はない**

(スプートニク 2016年10月16日 23:00)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/pbZjFr>

ロシアは米国の選挙に影響を及ぼす気はない。会見でプーチン大統領が述べた。「米国のパートナーや友人を含め皆を安心させたい。我々は米国の選挙に影響を及ぼす気はない。答えは簡単、我々は選挙後の米国がどうなるかを知らない」と。プーチン大統領によると、ヒラリー・クリントン氏はロシアに対して攻撃的なレトリックとスタンスを選び、ドナルド・トランプ氏は逆にテロとの闘いにおける協力を求めている。「しかし、もちろん、私たちは、私たちと協力してくれる誰でもを歓迎するし、我々が常に誰かとけんかをしている必要があるなどと考えることは誤っているし、そのような形で自分自身に、また世界に脅威を与えようとしており、テロとの戦いにおいて必要な結果を求めているとすることは間違っていると考える」とプーチン大統領。

<http://sptnkne.ws/c2dQ>

### **プーチン大統領、対西報復制裁廃止の可能性について：誰がするか！**

(スプートニク 2016年10月17日 07:01)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/whKD9v>

プーチン大統領は西川に対する報復制裁の緩和もしくは取り止めの可能性について聞かれ、ゴアで開催のBRICS首脳会議の終わりに次のように答えた。

「誰がするか！…これは、簡潔に言ったもので、正しくは…開放しようとするつもりだ。私はあなたに賛成しない。これは報復制裁ではない。これは、我々の市場を守る対策であり、強いられる対策だ。」

対露制裁についてプーチン大統領は、西側が唯一の目的として持っているのは、ロシアの封じ込めであって、現実問題の解決ではないと指摘した。

<http://sptnkne.ws/c2ps>

## ブルームバーグ：米国は露中を接近させた

(スプートニク 2016年10月17日 08:48)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/S5muzm>

ロシアと中国は米国との対立を背景により一層の相互理解を進めているとブルームバーグが報じた。

この数ヶ月で2国は安全保障分野での協力を強めている。露中は南シナ海で初めて海軍合同演習を行うなど軍事分野で接近しており、米国の「高高度防衛ミサイル（THAAD）」の韓国配備へ反対する共同戦線を張るなど、外交分野でも交点を見つけていると同紙は指摘する。

ロシア科学アカデミー極東研究所のワシリー・カシン主任研究員は次のように述べた。

「両国が軍事レベルでの共同行動について話し始めたということは、非常に真剣なことだ。米国MDシステムからの脅威が露中を将来的な接近へと後押しした。露中にとって封じ込め政策とは、何よりも米国の封じ込めを意味する。」

プーチン大統領によると、露中には「非常に独特な、信頼と相互支持関係」が形成された。

<http://sptnkne.ws/c2pU>

## 日本、ロシアとの北方領土共同統治案否定

(スプートニク 2016年10月17日 14:33)

© Sputnik/ Sergey Krivosheyev <https://goo.gl/UwDE8n>

外務省の川村泰久外務報道官は、日本とロシアの両政府は北方領土の共同統治案について話し合ったという報道を否定した。ロイターが報じた。菅義偉官房長官もブルームバーグに、ロシアとの共同統治案は検討されていないと述べた。

月曜日、日経新聞が、日本はロシアに北方領土の共同統治案を提案する意向だと報じた。同紙によると、安倍首相が12月に控えているプーチン大統領との山口県での会合でこの問題を持ち上げたいという。日本とロシアの政府筋をもとに日経新聞は、ロシアは日本の意向を一部知っていると言。

川村報道官は、4島の帰属問題解決に関する日本の基本的な立場は変わらないと付け加え、日本とロシアの両政府が北方領土共同統治案を話し合っているという日経の報道を否定した。

金曜日、時事通信が世論調査の結果を引用して報じたところでは、日本人のほぼ半数が、ロシア

が日本に係争中の4島ではなく2島を譲渡する場合でもそれに反対していない、とのことだ。

<http://sptnkne.ws/c2rH>

### **アサド大統領とロシアはシリアでの紛争に勝てないー英外相**

(スプートニク 2016年10月17日 15:10)

◎ REUTERS/ Toby Melville <https://goo.gl/l8gAId>

米国と英国は、アレッポ周辺的情勢緊迫化を理由に、シリアとロシアに対して経済制裁を導入することを検討している。ボリス・ジョンソン英外相とジョン・ケリー米国務長官が述べた。ジョンソン外相は英ロンドンで開かれたシリア情勢を巡る外相会談の場で、次のように述べた。「我々はアサド政権、ロシア、イランに対する圧力を下げるべきではない。我々はこの圧力を強めるべきだ」。ジョンソン外相は、制裁は経済的性格を帯びる可能性があるとして述べた。同外相は次のように付け加えた。「アサド大統領とロシアはシリアでの紛争に勝てない」。

先に伝えられたところでは、シリアのアサド大統領は現在の世界の状況は冷戦に近いとする一方でグローバル紛争に突入する恐れも感じられるとの見方を表していた。

<http://sptnkne.ws/c2sF>

### **BRICSで、クリュチェフスキー金鉱床開発合意**

(スプートニク 2016年10月17日 22:12)

◎ Sputnik/ Host photo agency/Iliya Pitalev <https://goo.gl/IRJniZ>

BRICSの代表たちは日曜日、クリュチェフスキー金鉱床を共同で開発する旨の覚書に調印した。これは、最初の共同出資プロジェクトとなる。インドの産金会社SUN Goldのプレスリリースで伝えられた。ゴア開催のBRICS首脳会議で覚書に調印したのはSUN Gold、China National Gold Group、極東開発基金、Trans AFRICA Capital、ブラジルの投資家アントニオ・モラエス・ネット氏だ。投資額は4億から5億ドルと見積もられている。

ザバイカル地方のロシア天然資源・環境省が発表しているところ、クリュチェフスキー金鉱床にはAランク、Bランク、C1ランクの鉱石が47.8トン、C2ランクが26.6トン、低質な鉱石が4トンある。

<http://sptnkne.ws/c2ta>

## 日露国交回復 60 周年：ロシア政府は協力拡大に力注ぐ

(スプートニク 2016 年 10 月 17 日 17:23)

© Sputnik/ Sergey Pyatakov <https://goo.gl/H7Bb29>

ロシアは 1956 年に調印した日ソ共同宣言を基に日本との協力関係拡大に力を注いでいく意向だ。日露国交回復 60 周年を記念し月曜日に開催した「日露フォーラム」で、ラヴロフ外相が参加者に向けた挨拶でそう述べた。

挨拶をフォーラム本会議の開幕で読み上げたのはエヴゲーニー・アフナーシェフ駐日ロシア大使だ。ラヴロフ外相は次のように指摘した。

「戦争状態を終わらせ、我々の国の間の外交関係を回復した（旧ソ連と日本の）宣言調印は、大規模な歴史的出来事、二国間関係の進み行く発展の道のマイルストーンとなった。」

ラヴロフ外相によると、2 国の議会によって調印された文書は「今でも露日協力関係の法的基礎」であり「こちらからも今後とも政治対話、貿易・経済、文化・人道、科学交流を含め 2 国間協力拡大を目的にして活発に力を注いでいく意向だ」という。

<http://sptnkne.ws/c2vq>

## モスル解放作戦は住民 150 万人の安全を脅かす－国連

(スプートニク 2016 年 10 月 17 日 18:02)

© REUTERS/ Azad Lashkari <https://goo.gl/gj0W6F>

イラクのモスル解放をめざす軍事作戦は住民 150 万人の安全を脅かす。人道問題担当国連事務副総長スティーヴン・オブライエン氏が述べた。「私は街をダーイシュ（IS）から解放する軍事作戦で危害が及びかねないモスルに住む住民 150 万人の安全を非常に危惧している。十字砲火にあい、スナイパーに狙われる危険が高い。数万ものイラク少年少女に男女が包囲され、または生きた盾として利用されるかもしれない」とオブライエン氏。

先にイラクのハイダー・アル・アバディ首相は北部のモスルをダーイシュから解放する大規模軍事作戦の開始を発表。クルド司令部はツイッターで、クルド人蜂起勢力（ペシュメルガ）とイラク軍は 6 時に調整の上モスル郊外で大規模軍事作戦を開始したと発表した。国際有志連合は 16 日よりダーイシュ拠点空爆を行い、作戦中は常に空中支援を続ける、という。

<http://sptnkne.ws/c2v7>

## アサンジ氏、インターネットを切断される

(スプートニク 2016年10月17日 18:05)

© AP Photo/ Kirsty Wigglesworth <https://goo.gl/1dQLNr>

ウィキリークスによれば、ロンドンのエクアドル大使館にいる創始者のジュリアン・アサンジ氏がインターネットを切断された。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <https://goo.gl/V6RgHp>

「アサンジ氏のインターネット接続はある国により意図的に切断された。不測の事態に備えしかなるべき措置を講じた」とウィキリークスサイトおよびツイッター。

アサンジ氏は2012年よりロンドンのエクアドル大使館にいる。ウィキリークスの活動につき、スウェーデン当局から米国へ引き渡されることを恐れ、エクアドル政府に政治亡命を申請したのだ。

9月半ば、スウェーデン検察は、17日にロンドンのエクアドル大使館でアサンジ氏を尋問する許可を取り付けた。

なお先に伝えられたところによると、内部告発サイト「ウィキリークス」は、今年末までに、3つの国の政府に関するものも含め、重要な文書を公開する。

<http://sptnkne.ws/c2vS>

## 自民党副総裁：プーチン大統領と安倍首相は信頼関係を樹立した

(スプートニク 2016年10月17日 18:52)

© Sputnik/ Host photo agency/Sergey Guneev <https://goo.gl/quPtSk>

安倍首相とプーチン大統領は信頼関係を樹立した。東京で今日開かれた外交関係回復60周年を記念する露日フォーラムで高村正彦自民党副総裁が述べた。「12月に安倍首相の郷里である山口県をプーチン大統領が訪れることで合意が得られたことを歓迎する。両者に受け入れ可能な平和条約と領土問題の解決のため両国首脳は相互信頼に基づく強固な関係を構築した」と高村氏。ラヴロフ外相はフォーラム参加者らに対しメッセージを寄せた。エヴゲーニイ・アフアナシエフ駐日ロシア大使の代読したそのメッセージの中でラヴロフ外相は、ロシアは各方面で日本との協力拡大に努めていく、と強調した。

<http://sptnkne.ws/c2xq>

## ウルグアイ、外界と隔絶の仏教寺院、謎の深遠を独占取材（写真）

（スプートニク 2016年10月17日 20:43）

◎ 写真：Sputnik/ILANA BRESKER 1/3 <https://goo.gl/Po.jzHS>

南米スペイン語圏で唯一の仏教寺院が、ウルグアイ中東部、ミナス市近郊の緑の丘の上に隠れるように立っている。寺院は一切の宣伝を行わず、寺院のそばには何の標識もない。

チベットかブータンの伝統的様式で建設されたこの建物は、高さ約400メートルの丘の上にあるにもかかわらず、かなり近くまで行かなければその存在に気付くことがない。通常、観光客には公開されていないこの寺院が今回特別にスプートニクの取材に応じてくれた。

インタビューに答えたのは寺院の指導者でロシア系ウルグアイ人のペマ・ゴムポ（Pema Gampo）氏。ペマ・ゴムポ氏の話では寺院はこうした閉鎖的な環境を保ってはいても、地元政府との関係維持のため、月に1回だけ観光客の受け入れを行っている。とはいえネパール人絵師が内装画を描いたカラフルな建物には、オレンジの僧衣をまとい経を唱える僧侶の群もない。

しかし、観光客誘致を目的とせず、僧侶もいないのであれば、この寺院は何のために存在しているのだろうか？ チベット仏教四大宗派のうち最古の宗派、ニンマ派の仏教センター国際ネットワークの一端をなすこの寺院は、世界中から人々が訪れ、精神修行に打ち込むことができるよう、リトリートセンターとして建設された。寺院内にある約40人を収容する部屋の他にも、極めて美しい家が10軒、近隣の丘に点在している。

◎ 写真：Sputnik/ILANA BRESKER <https://goo.gl/LqHnjg>

◎ 写真：Sputnik/ILANA BRESKER <https://goo.gl/8ZAuy2>

◎ 写真：Sputnik/ILANA BRESKER <https://goo.gl/kkFqMA>

リトリート参加者はそこで外界から完全に隔離され、修験者のような生活を送ることができる。ペマ・ゴムポは寺院で教鞭をとり、弟子たちが正しく精神修行を行うよう監督している。「深く没入するということは、昼夜を問わず、長期間にわたる絶え間ない修行を意味します。そのためには、静かな場所が必要です。仕事を忘れ、ある期間は家族を忘れることが必要とされます。それは10日になるとも、数年に及ぶともしれません。その間、没入せねばならないのです」と師は語る。

リトリートに来る人たちは通常、仏教に通じているだけでなく、ニンマ派（Ñingmapa）の信者であることが多い。しかし、たとえ仏教の伝統について一切知識がなくとも、仏教の修行を始めようとする人すべてに寺院の扉は開かれているのだとペマ・ゴムポは強調する。ペマ・ゴムポは冗談めかして、初めて来る人の大部分は自分が何を探しているのかが全く分かっておらず、精神修養がどんなものなのかについて神話的な考えしか持っていないとして笑い顔で次のように語っている。「彼らは、ここを訪れ、座り、瞑想すれば、次の日には後光が差し始めるのだと思っています。当然、

学習が始まると、定期的な修行が必要であり、それには長い時間がかかるのだと教えられ、それを聞いて多くの人は去って行きます。」

ペマ・ゴムポによると、時として有名人もこの寺院を訪れるという。しかし、俳優や政治家のような有名人は、自分がここに来ていることを口外しないでくれというらしい。

修行者は朝5時30分に起床し、30分後には寺院に来て、集団修行を始めなくてはならない。それが終わってからようやく朝食をとり、その後、各自が自分の修行に打ち込んだり自分の仕事をしたりする。日中は弟子全員が道場に残るわけではない。仕事に行く人もいれば、学校に行く人もいる。寺院に残る人たちはそれぞれ自分の仕事をする。「例えば、コンピューターが使える人は、寺院のウェブサイトの管理をします。料理が好きな人は何かを調理しますし、庭の手入れが好きな人は植物の世話をします。つまり、各自が自分の仕事を持っているのです」と師は話す。夜は集団修行に全員が集まり、その後、それぞれの寝室に帰る。午後10時きっかりにセンター全体が消灯する。

師の話では、中には寺院の静寂に耐えられない人もいるという。周りに何の音もないことで眠れないと言ってリトリートを去る人さえいる。「あるブラジル人のケースです。彼はここに自家用車でやってきて、多数の箱を車から降ろしはじめました。何年もここにいるつもりだったのでしょう。何を持ってきたと思いますか？ テレビ、オーディオ、大量のモノ…コンピューターなどです。オーディオにはこんな大きさのスピーカーがついていました（大きさをジェスチャーで示す）。彼はすぐに音楽を流し始めましたが、次の日にはリトリートセンターを去るよう求められました。精神修行について間違った考えを持っている人も時々いるのです」と師は笑いながら思い出した。Ilana Bresker

<http://sptnkne.ws/c2yh>

## 「ロシア・トゥデイ」が英国に所有の銀行口座、すべて封鎖

(スプートニク 2016年10月17日 21:36)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <https://goo.gl/qesdXf>

国際通信社「ロシア・トゥデイ」およびTV「RT」のマルガリータ・シモニャン編集長は自身のツイッター上で「RT」が英国に所有する銀行口座が全て凍結されたことを明らかにした。

「我々の英国での口座が封鎖された。『この決定の見直しは行なわれない』という。まったく、『言論の自由万歳』だ。」とシモニャン編集長は書いている。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <https://goo.gl/RJw00T>

なお先に伝えられたところによると、ハフィントンポストは、米大統領選の民主党候補ヒラリー・クリントン氏の健康をテーマにした記事を書いた執筆者に対して同紙のサイトへのアクセスを遮断



し、記事を削除した。

<http://sptnkne.ws/c2yZ>

## 日本、係争諸島のロシアとの共同管理の可能性についてコメント

(スプートニク 2016年10月17日 19:51)

© AFP 2016/ Kazuhiro Nogi <https://goo.gl/4Ij5dG>

日本政府は現時点で係争のあるクリル岩礁の四島をロシアと共同管理することを検討してはいない。月曜の会見で菅官房長官が述べた。記者の質問に長官は「そのようなことは全く考えていない」と述べた。「四島返還と平和条約締結については我々のこれまでの立場は変わらない」と長官は強調した。

先にロシア議会上院国際委員会のアンドレイ・クリモフ副委員長は、ロシアは日本に対し、日本人や日本企業が一定の活動を行えるよう、クリル諸島の四島を共同開発することを提案する可能性がある、と述べた。ただし、それら諸島に対するロシアの主権に議論の余地はない、とされた。

「日本に米国の軍事プレゼンスがある限り、ロシアの太平洋艦隊をブロックするような米国の軍事力がクリル諸島に出現することはない、という保証を日本の指導部が与えることはできない。米国の軍事力がクリル諸島に出現するなら、それはロシアには全く受け入れられないし、太平洋地域全体のパワーバランスが根本的に変わってしまう。それだけでも、いずれの形にしる日本に島が返還されるという選択肢は全く受け入れ不可能である」とクリモフ氏。

なお先に伝えられたところによると、外務省の川村泰久外務報道官は、日本とロシアの両政府は北方領土の共同統治案について話し合ったという報道を否定した。

<http://sptnkne.ws/c2zR>

## フランス大統領、ロシアへの圧力を弱める意向なし

(スプートニク 2016年10月17日 20:05)

© REUTERS/ Eric Gaillard <https://goo.gl/1NqTkd>

フランスのオランド大統領はシリア情勢に鑑み、ロシアへの圧力を弱める意向はないが、シリア紛争を討議するためプーチン大統領を受け入れる用意は変わらずある、と述べた。フランス地方紙の情報としてロイターが伝えた。

「プーチン大統領は真剣にシリアについて討議する気がない。私は常にその用意があるが、圧力を

弱めはしない」とオランダ氏。氏はさらに、空爆停止と停戦、人道支援と交渉再開が絶対的最優先だ、とした。

ロシアのプーチン大統領は11日、10月19日に予定のフランス訪問を拒否。プーチン大統領のこの決定は前日の10日、オランダ大統領がプーチン大統領との会談を拒否する考えであることが明らかにされたあとなされたもの。

<http://sptnkne.ws/c22w>

### **日本議員、ロシアから東京までパイプラインを敷設する計画検討を政府に提案**

(スプートニク 2016年10月17日 20:30)

© AP Photo/ Koji Sasahara, File <https://goo.gl/01MwwB>

日本国会議員のグループが政府に、8項目からなる新たな経済協力の一環で、サハリンから東京湾までガスパイプラインを敷設する計画を検討するよう提案する。共同通信が報じた。

同通信社によると、議員たちは安倍首相と、ロシア経済分野協力担当大臣を兼務する世耕弘成経済産業相に提案書を提出する意向。

パイプラインの全長は約1,500キロ、計画の総額は7,000億円と見積もられている。プロジェクトによればパイプラインは主に海底を通り、地上部分は北海道と茨城県に敷設されるという。

日本は現在液化天然ガス（LNG）のみを購入しており、世界最大の輸入国となっている。サハリンからのパイプラインを通して、現在の日本のLNG輸入量の17%にあたる年間200億立方メートルの天然ガスを届けることができる。

なお、先に伝えられたところによると、ロシアとトルコは「トルコ・ストリーム」計画の政府間協定の枠内で、2019年12月30日に石油パイプラインを2本同時に運用開始すると合意した。

<http://sptnkne.ws/c24k>

### **ホットになった露日関係は北極開発にも影響しうる**

(スプートニク 2016年10月17日 21:12)

© Sputnik/ Mikhail Fomichev <https://goo.gl/8ZPVxB>

露日の政治関係がホットになったことが北極での協力にもポジティブに影響しうる。こうした見解を表しているのはモスクワ国際関係大学東洋学科の学科長、ドミトリー・ストレリツォフ教授だ。

ストレリツォフ教授は「北極における国際協力、新たな挑戦と発展のベクトル」と題された会議で発言したなかで、北極海航路の開発、天然資源開発、極圏の合同探査といった分野では両国の関心は一致しているとの見解を表した。

北極海航路の将来性についてはアジア諸国の中ではずいぶん前から取り上げられてきた。だがストレリツォフ教授の話では、この航路の発展に日本が参加するかどうかの原則的な解決は未だにない。ストレリツォフ氏は、日本側はこの問題についてはロシアの歩みを見守っていると語る。日本にとってはこの航路の合法的な機能体制がどれだけ極海コード (Polar Code) を含めた国際法の基準に合致したものになるかが重要だからだ。日本の輸送業者にとっては気象予測の質や氷のモニタリングシステムの効果も大きな意味を持つ。

天然資源開発に関しては、日本は炭化水素資源の消費国になりうるだけでなく、採掘技術の供給国にもなりうる。日本のエネルギーバランスで最も大きな割合を占めるのが石油の 42% で、その 8 割が「安全とはいえない」中東から運ばれている点にストレリツォフ教授は注意を促す。日本のガス消費が増えたことをストレリツォフ氏は「安定化の最初の段階」ととらえる。欧州諸国とは異なり、日本のエネルギー消費量は夏にピークを迎えることから、ガス市場での価格を下げる可能性もある。ストレリツォフ氏は「ロシアにとっては日本の大陸棚プロジェクトへの参加が叶うかどうかは、日本の経験と技術上の可能性を実践的に利用する問題に絡んでくる」と補足した。

<http://sptnkne.ws/c26B>

### **北朝鮮、核の先制攻撃で米国を牽制**

(スプートニク 2016 年 10 月 17 日 22:34)

◎ AP Photo/ Ahn Young-joon <https://goo.gl/J6wZpj>

北朝鮮は、米国が核兵器を同国に対して動かした場合、北朝鮮は先制攻撃に打って出るとし、北朝鮮外務省の米国研究所の Lee Yong Pil 所長が次のように述べた。「米国の核兵器は我々の海岸にあり、核兵器は我々の国と、我々の大事な指導者金正恩に向けられている」。

Lee Yong Pil 所長によると、北朝鮮は「米国からの核の脅威がある間は退かない」という。リアーノーヴォスチが報じた。Lee Yong Pil 所長は「米国は核の先制攻撃を独占しているわけではない。もし、米国が先制攻撃を我々に行うつもりだと我々が見たときは、我々が先に先制攻撃を行う」と付け加えた。Lee Yong Pil 所長は「核兵器は我々の国を守るため我々には不可欠だ。自らの核能力を高めることは我々の政策だ」と強調した。先に伝えられたところでは、韓国は北朝鮮を先制攻撃する用意があるという。

<http://sptnkne.ws/c28F>

## 中国人がロシアへやってくる理由、オーロラを見てダイヤを買い、ソ連の過去のノスタルジーに浸るため

(スプートニク 2016年10月18日 03:04 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Natalia Seliverstova <https://goo.gl/j1DV59>

中国人のロシア観光は前代未聞の伸びを見せている。中国人が訪れる先はモスクワ、ペテルブルグに留まらない。彼らは今やソチ、クリミア、はたまた北のムールマンスクにまで足を伸ばしている。

2016年、ロシアを訪れる中国人観光客の数はマイナス30%と落ち込んだ日本人観光客数とは裏腹に34%と大きな伸びを見せている。今年半期の集計ですでに17万5千人の中国人がロシアを旅行した。これに対して日本からの旅行者はわずか1万2,500人だ。今何が日本人旅行客がロシアに来るのを押しとどめているのかは不可解だが、中国人はこの数値を下げる気は全くない。過去5年間の統計を見ればこのことは容易に分かる。2010年の中国人観光客は15万8千人。2015年にはその数は67万7千人にも達している。

中国人のこの関心は何に関係したものなのだろうか？ これについてスプートニクは観光協会「国境なき世界」のスヴェトラナ・ピャチハトカ会長にマイクを向けた。

「前向きな役割を演じたのは経済的なファクター、つまりルーブルの下落です。これでロシア観光はずっと安くなり手軽になりました。それから中国では今ちょうど外国旅行が盛んになってきているのです。しかもロシアは中国人観光客にとっては最も近いヨーロッパで、ロシアに来たことで中国人は自分のメモに『ヨーロッパにはこれで来たことになる』と印をつけます。このほか、他の外国人観光客と同じく中国人にとっては外国旅行は世界を知る旅だけではなく、ショッピングツアーでもあります。ロシアの商品は今ヨーロッパよりとても安いからです、もちろんのことロシアに来る目的には買い物も入っているのです。2つめの大事なファクターはビザなし渡航についての合意です。このおかげで5人から50人の団体がそろって旅行する場合、最長15日までビザなしで観光が可能となりました。ビザ申請の費用が省け、旅行準備の日がちが短縮されたということが大きく背中を押ししました。そしてもちろんのことながら、両政府間の政治的環境が良好であることが多くの点で観光客数の増加を促しています。」

中国人がまず目指すのはモスクワとサンクト・ペテルブルグ。この2都市は中国人に最大の人気を誇る行き先だ。だがここ2年は中国人の側からロシアの他の地域への関心が高まってきている。これについてピャチハトカ会長は次のように語っている。

「今、中国人観光客の関心はバイカル、カムチャッカ、クリミア、ソチにも広がってきています。それに北部の例えばムールマンスクなどにも彼らの関心が目覚め始めました。中国人観光客はこんなゲンを担いでいます。もしオーロラを目にすることが出来たら、それからは一生幸せでいられると。それからダイヤモンドで世界に知られたヤクート（サハ共和国）へのツアーも人気が出てきました。中国人は琥珀をもとめ、カーリーニングラードにも出かけていきます。」

もちろんソ連の遺産もとても人気があり、いわゆる『レッドツアー』と呼ばれるそういったソ連関連の施設を回る旅が非常に好まれています。それからソチ、クリミアも中国では海辺のバカンスの伝統がないにもかかわらず人気で、ロシア人観光客がバカンスを楽しむようにビーチでリラックスする旅行として好まれています。中国人のほとんどは泳ぐことすらできません。それでもクリミアやソチはエコツアー的な観点から人気があるのです。自然のランドシャフトのおもしろさ、新鮮な空気、中国にはこんな自然がないということが理由です。クリミアが人気な理由はそこには船などのソ連時代の遺産が残されていることもひとつです。これが中国人にはたまらないらしいのですよ。」

- Sputnik/ Tatiana Khlon <https://goo.gl/gqEiZJ>
- Sputnik/ Tatiana Khlon <https://goo.gl/9Svo1Z>
- Sputnik/ Tatiana Khlon <https://goo.gl/PdbghJ>
- Sputnik/ Tatiana Khlon <https://goo.gl/vQaBBF>
- Sputnik/ Tatiana Khlon <https://goo.gl/zzX7XH>

中国人の訪れる観光地が地理的に拡大しているだけではない。その観光シーズンも格段に長くなった。これについてピャチハトカ会長は次のように語っている。

「これまでは中国人のロシア観光シーズンは5月から9月とそう長いものではありませんでした。ところがこの数年、シーズンの長さが伸びています。これを促しているが文化、スポーツ、ビジネスに関連した年間を通じたイベントです。モスクワで言えば今非常に人気なのがライトアップのアートを競う『光の輪』フェスティバルや軍楽隊フェスティバルの『スパスカヤ』が観光シーズンです。フェスティバルや祝日といったイベントは観光客を文句なしに惹きつけます。しかもロシア全土の各地域でインフラが著しく改善されており、多くの歩行者天国や中国人観光客に合わせたサービスが提供されているのです。中国人向けの特別インターネットプログラム『チャイナ・フレンドリー』が功を奏しているのです。」

簡単に言えば需要は供給を生むということだ。だからロシアを訪れる日本人観光客の数がこの先増えれば、きっと Japan-friendly というプログラムも始動することだろう。

<http://sptnkne.ws/c27B>

## 英国政治家：「ロシア・トゥデイ」の口座凍結は言論の自由の侵害

(スプートニク 2016年10月17日 23:46)

- Sputnik/ Igor Russak <https://goo.gl/zEjG9y>

英国の政治家でジャーナリスト、元英国議員のジョージ・ヘロウェイ氏がスプートニクの独占インタビューに応じ、RT（ロシア・トゥデイ）の口座凍結は明らかに政治的な措置であり、言論の自由の侵害であると述べた。

「主人公は銀行だが、決定をするに先立ち、銀行が英国政府と連絡を取り合い、このような野蛮かつ明らかに政治的な措置に対する許可を得たことに疑いはない。英国は言論の自由の公然たる侵害に走った。」

同氏によれば、RTは長らく英米のウクライナ、中東その他多くの方向における政策にとっての棘だった。RTの人気が高まり、視聴者から英国の国営メディアにまさる信頼をどんどん獲得しているという事実が英国を不安にさせたのだ、と同氏。

<http://sptnkne.ws/c2Nm>

## **NATOはロシアと女性のロシア語で話し始める**

(スプートニク 2016年10月18日 00:45)

© AP Photo/ Hadi Mizban <https://goo.gl/I16SGd>

NATO史上初めて事務局次長に任命された女性である米国人のローズ・ゴッテモラー氏が月曜日、ブリュッセルにあるNATO本部で職務を開始した。NATOプレスサービスがスプートニクに伝えた。NATOとロシアとの関係を主に担当することになるゴッテモラー氏は、アレクサンダー・バーシュボウ氏の後継だ。

ゴッテモラー氏は1953年、米オハイオ州で生まれ、ジョージタウン大学とジョージ・ワシントン大学で教育を受けた。すでに当時からソ連の防衛政策と安全保障のテーマを専攻し始めていた。就学中に彼女はロシア語を身につけ、自由に操っている。

1993年、94年にはゴッテモラー氏はクリントン政権の国家安全保障会議で働き、ベラルーシ、カザフスタン、ウクライナの核軍縮問題を担当していた。2009年にはオバマ政権で国務長官補佐官を務めた。彼女は2010年に調印された新戦略兵器削減条約（新START）で、ロシアとの交渉責任者を務めていた。

<http://sptnkne.ws/c2Nu>

## **ハイレベルでの今後の接触は露日協力関係に弾みを与えるーラヴロフ外相**

(スプートニク 2016年10月18日 05:03)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/w1LM6C>

ラヴロフ外相は日ソ共同宣言60周年を記念した日露フォーラムの参加者に挨拶を送った。ロシア外務省のサイトが10月17日発表した。外務省サイトに掲載されたラヴロフ外相の挨拶には次のように書かれてある。



「今後とも政治対話、貿易・経済、文化・人道、科学交流を含め2国間協力拡大を目的にして活発に力を注いでいく意向だ。ハイレベルでの今後の接触が共同作業に更なる弾みを与えることを期待している。」

先に伝えられたところによると、プーチン大統領の日本訪問が12月15日に見込まれている。

<http://sptnkne.ws/c2Pa>

### IAEAのウラン備蓄バンクへの供給国はただ1国となる可能性

(スプートニク 2016年10月18日 06:12)

◎ 写真: Public Domain <https://goo.gl/PXPQZA>

カザフスタンは、同国に建設されるIAEA（国際原子力機関）の低濃縮ウラン（LEU）貯蔵バンクのための唯一の供給国になる可能性があるとし、同国エネルギー省のバクトジャン・ジャクサリエフ次官が記者団に次のように述べた。

「供給は多くの国からなされるのではなく、1つの国からなされる。よって、IAEAが燃料購入を行い、低濃縮ウランの所有者となる。相応しい入札手続きが行われ、供給者が1つ選ばれる。この供給者はカザフスタンになる可能性がある。」

これに先立ちジャクサリエフ次官は、同国のLEU貯蔵バンクは90トンの低濃縮ウランを保管することになると述べた。カザフスタン政府とIAEAは2015年8月、同国内にLEU貯蔵バンクを建設することの協定書に調印した。この貯蔵バンクは、現存する各燃料供給メカニズムが乱れた際に、各国に核燃料供給を供給する信頼のおける供給メカニズムの1つだ。

なお先に伝えられたところによれば、中国は、稼働可能な原子炉の数でロシアを追い越す見込みだ。

<http://sptnkne.ws/c2Pc>

### 英国人ジャーナリスト、ロシアとの関係においてなぜ欧米が悪いのかを説明

(スプートニク 2016年10月18日 07:33)

◎ AP Photo/ Shakh Aivazov <https://goo.gl/k5wu1P>

ロシアと米国の関係は冷戦以来最悪となっている。BBCのジョナサン・マーカス評論員が述べた。冷戦の終わりで「新しい時代」が始まるはずだった、と同氏。なぜロシアと欧米の関係は望ま



しくない方向へ進んだのが。誰のせいでこうなったのか。すべてを統括しようと欲した米国か、ソビエト時代の偉大さへのノスタルジーを抱えたロシアか。マークス氏はこの疑問の解明に取り組んだ。

「欧米がロシアを共産主義を振り払った民族として受け取ることをしなくなったとき関係は損ねられた。新たな共同体として受け入れるべきところ、ソ連の継承者として受け入れ、欧米にとっての不信感の主要な源泉と見た」と米国の分析家、元C I A将校のポール・ピラー氏。

加えてN A T Oは常時拡大の用意があった。まずはポーランド、チェコ、ハンガリーなどの国を組み込み、続いてバルト諸国、すなわち旧ソ連領土を含み込んだ。ロシアがグルジアとウクライナの参入を防止したことは驚くべきことではない。そもそもロシアは欧米から公平に扱われていると感じていなかった、と評論員。

<http://sptnkne.ws/c2MB>

### **アナリスト：ロシアというテーマは当面米国の政策課題になり続ける**

(スプートニク 2016年10月18日 09:06)

◎ Fotolia/ KLimAx Foto <https://goo.gl/vtSorx>

ロシアというテーマは米国の近い将来における政策において重要な役割を演じ続ける。高等経済学院欧州および国際研究センターの副所長ドミートリー・スースロフ氏が述べた。「米国はインドや中国とは異なりロシアは弱体化した国とみている。したがって、彼らは新しい、独立した力の中心からロシアをはじき出すことができれば天秤を自分の側に傾けることができている。この考えからいくと、ロシアというテーマが米国の政治の中で弱まることはないと思う」スースロフ氏が会見で述べた。

米国の大統領選においてさえロシアという要因は不釣り合いなまでに重要な役割を果たすようになって、と同氏。「それは我々がすでに事実上新冷戦に入っていること、ロシアが米国で最大の地政学的敵であるとみなされていることと関わる」とスースロフ氏。新たな多極世界の中心のひとつたる現代ロシアは米国のモデルには適合しないのだという。

<http://sptnkne.ws/c2Pn>

### **日本、安倍首相のプランの一環で、11月までにロシアとの協力計画リスト作成へ**

(スプートニク 2016年10月18日 09:32)

◎ 写真: Host photo agency <https://goo.gl/PDVgz4>

日本は世耕弘成経済産業大臣のモスクワ訪問までに、安倍首相がプーチン大統領に提案した計画

の一環での、ロシアとの協力に関する具体的なプロジェクトのリストを用意する。世耕大臣が今日、日ソ共同宣言 60 周年を祝った在京ロシア大使館での会談で述べた。

世耕大臣が述べたところ、現在ロシアと日本の代表者たちが懸命にこのプランのために作業しており、日本がロシア側から多くの提案を受けている。8 項目からなる計画は多数の具体的なプロジェクトを内包しており、まず日本側はどれほど実現可能性があるかを調べているという。

<http://sptnkne.ws/c2Pq>

### **サンクトペテルブルグ：インフラ投資を待つ世界遺産の街、日本流の街づくりに高い関心**

(スプートニク 2016 年 10 月 18 日 10:01 徳山あすか)

© Sputnik/ Alexei Danichev <https://goo.gl/Ii3QQL>

ロシアに行ったら必ず立ち寄りしたい街、帝政ロシアの香りが漂うサンクトペテルブルグ。観光で訪れれば、ネフスキー大通りを始めとした街並みの美しさ、歴史を感じさせる聖堂や劇場、美術館などに圧倒されることだろう。1990 年には「サンクトペテルブルグ歴史地区と関連建造物群」として、世界遺産にも登録された。しかし、古くからの景観を維持した街に暮らすとなると、なかなか大変である。

ペテルブルグはその街並みから、京都のような古都だと思っている読者の皆さんもいるかもしれないが、実は 1703 年に、ピョートル大帝によって何もない沼地に人工的に創建された街なのだ。なので、古都と呼ぶには若干語弊がある。モスクワの誕生は 1147 年だと考えられているので、それに比べるとずいぶん新しい街だ。

現在、モスクワはハイペースで景観が変化し、モスクワ・シティを始めとする高層ビルが立ち並び超近代的な都市になった。一方で、ペテルブルグは地元住民が誇る、昔の景観を大事にした街づくりを尊重してきたため、街の見目の逆転現象が起きている。

しかし、この「景観を守る」という意識があまりにも強かったため、インフラの整備という点ではモスクワに遅れをとっていた。また、水資源の汚染対策も遅れた。サンクトペテルブルグのロシア科学アカデミーによれば、「フィンランド湾やバルト海はかなり汚染されている」ということだ。フィンランド湾は堤防汚染が目立っていたので、埋め立てによって沿岸部の地形を変え、汚染度合いを緩和しようとしたが、「埋め立て行為そのものが環境を破壊する」という住民の思い込みから反対運動が起こり、ストップがかかるという事態も起きた。

折しも、日本がロシアに提案している 8 項目の経済協力の二番目には「快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り」が掲げられている。まさに今、日本からの投資を呼び込むならば、景観を守り、環境に十分に配慮しつつ、市民生活の質を向上させるという手法が求められている。

サンクトペテルブルグ市・対外関係委員会の委員長代理で、国際協力部の部長でもあるイーゴリ・レンスキー氏は、都市インフラ向上のための日本の参入に、期待を見せている。レンスキー氏は先月、国土交通省の花岡洋文審議官を始め、建築設計事務所やメーカー、シンクタンクといった日本企業関係者らと会合を開き、意見交換を行った。

◦ 写真: Fadi Jabri サンクトペテルブルグでの会合 <https://goo.gl/pHmz9Z>

**レンスキー氏**：「ロシアと日本、お互いにとって関心がある都市経営の分野について建設的な話ことができました。環境保全、産業廃棄物の処理、建設にあたってのエネルギーの節約と効率的な利用など、テーマは広範に及びました。花岡審議官や日本企業の代表者らの話は私たちにとって非常に興味のあるところであり、実際的に必要なものです。このような会合が、現実的、かつ実用的な結果をもたらすことを望んでいます。」

プーチン大統領の訪日に向け、日露で経済協力8項目のプロジェクト具体化が進んでいることに関してレンスキー氏は、「特に都市経営に関することを期待します。先端技術協力や、自動車製造についてももちろんですが、サンクトペテルブルグが最も必要としているのは、インフラ投資プロジェクトだと思います。」と話している。

この会合と時を同じくしてサンクトペテルブルグでは、X-Urban フォーラムが開かれた。日本からは花岡審議官と、日建設計のファディ・ジャブリ執行役員が登壇し、日本の街づくりの取り組みについてプレゼンを行い、多数の市民が聴講した。ペテルブルグ市民は、日本では一般的になっている「TOD」(Transit Oriented Development)、つまり駅などの交通結節点を中心に住居や商業施設を作り、街を発展させていくという手法を、新鮮な驚きをもって受け止めた。ちなみにモスクワでは、環状線の開業によって、TODという言葉は一足早くメジャーになり始めている。

フォーラムに参加した日建設計のプロジェクト開発部門、都市デザイングループの来住竜一理事・副代表は、ペテルブルグ市民の反響の大きさに驚いた。来住氏は「規制を守りながらも都市を再生することの必要性を、多くの市民の方が感じている、と分かりました。それをここまではっきりと感じたのは初めてです」と話している。世界遺産を守るという発想から、守るだけではなく劣化するインフラにも対処しなければいけないという風に、市民の意識の変化が浮き彫りになった。

◦ 写真: Fadi Jabri X-Urban フォーラム <https://goo.gl/1ZIJ1w>

ちなみにサンクトペテルブルグでは、ここ最近日本カルチャーの発信力が増している。以前からあった鯛焼き屋に加え、たこ焼き屋もできた。スプートニクでも紹介したラーメン店ヤルメンや、抹茶が買える福寿園など、モスクワにもない店ができている。将来的に、ペテルブルグに日本的な要素がプラスされることによって、世界遺産の街は新しい様相を見せるかもしれない。

<http://sptnkne.ws/c2Pt>

## トルコにダーイシュ（IS）戦闘員が大挙流入する恐れ？

（スプートニク 2016年10月18日 10:30）

© AFP 2016/ Stringer <https://goo.gl/CRwpg4>

モスルの作戦の後でトルコにダーイシュ（IS、ロシアでは活動が禁止されている組織）戦闘員が大挙流入する恐れがある。クルトゥルムシュ副首相が17日述べた。「ダーイシュがモスルから一掃されたら彼らはどこへ行くのか。フランスやドイツではなく、一番近いトルコに来る。我々にとっての脅威だ」と副首相。

イラク第二の都市モスルは2014年からダーイシュの本拠地となっている。イラク軍とその同盟者ら（国民蜂起軍など）は先日から一大攻勢に備えてきた。月曜未明、イラクのハイダー・アル・アバディ首相はモスル奪還軍事作戦の開始を宣言した。

<http://sptnkne.ws/c2Pv>

## 第3次世界大戦はどれほど続くのか？

（スプートニク 2016年10月18日 11:21）

© Fotolia/ Romolo Tavani <https://goo.gl/EkCqWI>

米、露、中が参加した第3次世界大戦の場合に核兵器使用の可能性を除外するシナリオはごく一部だ。サイト「Inquisitr」が報じた。

執筆者ノーマンバード氏が書くところ、どれほど早く普通の対立状態が、すぐに全く「無制限」となる制限付き核戦争に成長するかを考慮する人はほとんどいない。

米軍司令官の一部のメンバーは、米国とNATOもしくはどちらか一方とロシアとの紛争、それとも、中国との紛争が続くのは「数分」だという点で同意していると記事には書かれてある。彼らによると、第3次世界大戦は「容赦なく迅速な」ものとなる。

先に米地上軍の参謀長であるマーク・ミリー将軍は、大国間の戦争は「実質的に不可避」であり、人工知能と高性能兵器が衝突の主な戦闘手段となると述べた。

なお先に、シリアのアサド大統領は現在の世界の状況は冷戦に近いとする一方でグローバル紛争に突入する恐れも感じられるとの見方を表している、と報じられた。

<http://sptnkne.ws/c2Nx>

## 英国、投資家に最も魅力的な国トップ5から外れる

(スプートニク 2016年10月18日 12:25)

© AFP 2016/ Fabrice Coffrini <https://goo.gl/XHfYRx>

英国は英コンサルティング会社EYによる「投資家に最も魅力的な国」ランキング最新版でトップ5から外れ、7位に落ち込んだ。グローバル・キャピタル・コンフィデンス・バロメーターが伝えた。

45カ国1,700人への調査をもとに8、9月に作成された。ブルームバーグによれば、英国が5位から外れるのは7年ぶり。4月時点では2位だったのが、国民投票でEU離脱が決まると評価に大きく響いた。

EUの10月の評価でトップ5に入ったのは米国、中国、ドイツ、カナダ、フランス。これに日本、イギリス、インド、ブラジル、オーストラリアが続いている。

英国のEU離脱のほかに投資を阻害しグローバルな不安定性を強めている要因として米国FRBの利上げ計画の不透明、一連の諸国で間もなく行われる選挙が挙げられている。

<http://sptnkne.ws/c2Py>

## メディア：EU、またしてもロシアについて合意できず

(スプートニク 2016年10月18日 13:11)

© AP Photo/ Yves Logghe <https://goo.gl/sr73vw>

EU諸国はまたしてもロシアに対しどのような政策をとるかについて意見を一致させられないでいる。ポリティコが伝えた。

「急速に悪化するモスクワとの関係はどんどん欧州にコントロールできなくなっているようだ。それに影響を与えているのはシリアであり米国である。米国はこれまで通り欧米全体を代表するかのようふるまっている」と同紙。

ブリュッセルで20日にEUのミニサミットが開かれロシアに対する立場を明確にすることが計画されている。記事執筆者はもはや「そのことは忘れるべきだ」としている。

一部の政治家はこの議論がロシアへの制裁の緩和に道を開くことを予測していたが、そうした期待はアレッポの出来事を背景に無用のものとなった。

一部の欧州リーダーはシリアとの関連で新しい対ロシア制裁の提案を行う見込みだが、EU当局

者によれば、この問題でコンセンサスに至ることはほとんど不可能であるという。

<http://sptnkne.ws/c2P5>

### **オバマ大統領、ヒラリー氏の健康状態を案ずる**

(スプートニク 2016年10月18日 16:55)

© REUTERS/ Carlos Barria <https://goo.gl/f00vt6>

オバマ大統領はヒラリー・クリントン氏の深刻な健康状態を案じ、軍の病院での検診を勧めていた。これに対し、クリントン氏は情報の漏洩が選挙キャンペーンに大打撃となることを恐れ、この提案を拒否していたことが明らかとなった。テレビ「ロシア 24」が報じた。

「ニューヨークタイムズ」紙のエドワード・クレイン元編集者がホワイトハウス内の消息筋の情報としてこのニュースを執筆した。

クリントン氏が健康状態を内密にしようと躍起になる姿はほぼマニヤック的。医者にかかるときも病院の建物内には通用門を通じてしか入らず、医師らには一切の情報を明かさぬよう要請し、こうしたことから心臓弁の交換手術も拒絶している。

本人の必死の努力にもかかわらず、マスコミにはクリントン氏の低血圧、血液循環の支障、失神を起こし、血栓が出来やすい先天性があることはリークされている。クリントン氏は薬の服用から眠気を感じ、激痛の偏頭痛に悩まされることが多く、自宅でもよくつまづき、転倒している。

先に伝えられたところでは、ウィキリークスは、クリントン氏の選対本部長のメール第9部を公開した。

<http://sptnkne.ws/c2T7>

### **アサンジ氏のインターネットを切ったのは誰か、ウィキリークスが明かす**

(スプートニク 2016年10月18日 16:08)

© REUTERS/ Axel Schmidt <https://goo.gl/ExWv7A>

ウィキリークスの創始者ジュリアン・アサンジ氏のインターネットの接続を切ったのはエクアドルだった。ウィキリークスのアカウントのツイッターで明らかにされた。これまではアサンジ氏のインターネットの接続は「ある国によって」切断されたとのみ発表されていた。アサンジ氏はすでに数年にわたりロンドンのエクアドル大使館内に滞在している。

「我々は、土曜、エクアドルがアサンジ氏のインターネット接続を切断したことを確信を持っていることができる。」ウィキリークスのツイッターにはこう書かれている。ウィキリークスは、切断されたのは「ヒラリー・クリントン氏がゴールドマンサックスで行なったスピーチが公表された直後」であったと主張している。

英国のAP通信の報道では、エクアドル政府内の消息筋は状況へのコメントを拒否する一方で「エクアドルはこれからもジュリアン・アサンジ氏を保護し、2012年に氏に対して提供した政治的避難を提供し続ける」と語っている。

<http://sptnkne.ws/c2TQ>

### 日本政治家らの靖国参拝が再度スキャンダルを中心に

(スプートニク 2016年10月18日 16:58)

◎ 写真: Marko Kudjerski <https://goo.gl/v9XTxK>

韓国政権は日本の政治家らが靖国神社の秋の例大祭に参拝したことを受け、これに対する抗議を表した。靖国神社はアジアの近隣諸国の中では日本の軍国主義の崇拝対象ととらえられている。

18日、韓国外務省の表した声明には次のように書かれた。「過去の日本の軍事侵略を理想化する靖国神社に日本政府および国会の政治指導者らが再度参拝し、供え物を奉納したことに対し、韓国政府は深い憂慮の念を感じずにはいられない。」

韓国外務省は日本の政治指導者らに対し、近隣諸国の信頼を得るよう邁進し、歴史へのまなごしを再考し、これを自身の実践的行動で示すよう呼びかけた。靖国神社の公式参拝には自民党、民進党の議員らも参加して行われた。

<http://sptnkne.ws/c2TY>

### ロシア国防省、シリアのアレッポへの空爆停止を声明

(スプートニク 2016年10月18日 17:08)

◎ Sputnik/ Ramil Sitdikov <https://goo.gl/6f18yR>

ロシア空軍は、モスクワ時間10月18日10時からシリア・アレッポでの空爆を停止する。セルゲイ・ショイグ国防相が発表した。ショイグ国防相によると、シリア政府空軍もアレッポへの空爆を停止する。ショイグ国防相が強調したところ、10月20日の人道停戦発効より前に、空爆停止は開始される。



ショイグ国防相は、人道停戦中、戦闘員たちが町を離れられるようにシリア政府軍がアレッポから撤退すると付け加えた。

ショイグ国防相によると、戦闘員は「アレッポ東部から武器を持ったまま、2つの特別に作られた回廊を通って出ることができる。回廊の1つ目は、カステッロ道路で、2つ目は、ハイイ市場の地域にある。我われはアレッポ東部の武装勢力に影響力を持つ諸国指導部に、武装勢力のリーダーたちが戦闘行為をやめて町を離れるよう説得するよう、提案する」。

<http://sptnkne.ws/c2Se>

### 日本政府：『北方領土』問題の最終的な解決が必要

(スプートニク 2016年10月18日 17:52)

© Sputnik/ Ekaterina Chesnokova <https://goo.gl/ePQQ52>

日本政府は南クリル諸島4島の帰属問題を解決してから平和条約を締結するという基本方針のもと、ロシアとの協議を粘り強く続けていく意向だ。菅官房長官が今日、記者会見で述べた。

菅官房長官によると、日ソ共同宣言60周年は「北方領土問題解決の重要性を改めて認識するよい機会だ」とし、「『北方4島』の帰属問題を解決して平和条約を締結するという基本方針のもと、ロシアと交渉を粘り強く行っていきたい」と付け加えた。TASS通信によると、共同通信の報道では菅官房長官は暫定合意の可能性にコメントし、「領土問題の最終的な解決の必要性」を語ったという。

岸田外相は一方、政治的対話が活発さを増すことが必要だと指摘し、プーチン大統領の「訪問においても成果が上がるように努力を続けていきたい」と述べた。

クリル諸島関連のニュースはこちら。<https://goo.gl/eyCsiU>

<http://sptnkne.ws/c2Uk>

### 12月のプーチン・安倍会談は平和条約締結の「最後のチャンス」?

(スプートニク 2016年10月18日 19:08 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Ekaterina Chesnokova <https://goo.gl/vJZTDh>

ロシアのプーチン大統領の日本訪問まで2ヵ月、両国間の領土問題がどう解決されるのか、あまりはっきりしていない。日本のマスコミは、あれやこれやのバリエーションを報道しているが、日本外務省は、すぐにそれらに反論している。いわゆるイエローペーパー的な大衆紙であれば、それ

も分かるが、そうした報道は、極めて信頼性の高いマスメディアもしている。

例えば先日、日本経済新聞は、政府消息筋の話として、会談で安倍首相は、プーチン大統領に対し、シコタンとハボマイが日本の管理下に移された際、エトロフとクナシリに共同統治ゾーンを作ることをご提案する意向だと伝えた。また、4島すべてを共同統治にするというバリエーションも検討されているという。先に読売新聞には、日本は平和条約締結の条件として、1956年のソ日共同宣言で言及されたハボマイとシコタンの2島の譲渡で満足するだろうとの記事も載った。エトロフとクナシリに関する交渉については、日本政府は、平和条約締結後にそれに戻る意向だとのことだ。新聞報道では、そうした決定の方が、ロシアは受け入れやすいだろうとしている。

日本の公式筋は、4島すべての帰属に関する日本のカギとなる立場が見直されることはない何度も繰り返し説明しているが、安倍首相は、前へと進む用意のあることを幾度となく示唆してきた。ロシアの専門家の中には、12月のプーチン安倍会談は、さらに60年、条約の調印を遅らせないためには、今回が領土問題解決の「最後のチャンス」になる可能性があると捉える人達もいる。モスクワ・カーネギー・センターのドミトリイ・トレニン所長も、そう考える人の一人だ—

「ロ日関係の突破口は、互いが譲歩しあい領土問題を取り去ることなくしては開くことはない。外交交渉の過程で合意を達成するだけでなく、そのあと、この合意に対する両国のエリート達や世論の支持を得るとするのは、極めて複雑かつ困難だ。しかし、もし対外的状況がロシアと日本の接近を妨害しないのであれば、双方が領土問題調整プランの輪郭を描くことは可能だろう。そうなれば、完全な協力のための新しい可能性を約束する平和条約調印に、本格的に近づくチャンスが生ずる。」

続いてスポーツニク日本記者は、カーネギー・センターの客員研究員で、東京大学法学政治学研究所の高原明生教授に御意見を伺った—

「今実際どういう交渉が行われているか、私は知りませんが、想像するだけですが、やはり安倍内閣もプーチン政権も、日ロ関係を発展させることの重要性はよくわかっていると思う。ロシアが極東の開発に熱心になっており、これは日本にとって大変喜ばしいことで、だからこそ8項目の協力提案も領土問題も、大きな進展があることを国民は期待していると思う。ただ実際そうなるかどうかは交渉次第なので、あまり大きな期待をかけすぎてもいけないだろう。また東アジアのバランスを考えると、日本とロシアの関係が良くなることは、決して損ではないという考え方もある。」

また九州大学比較社会文化研究院の相沢伸広准教授は、スポーツニク日本記者の取材に対し「最高首脳会談の時期として最も今は相応しい」と指摘され、次のように続けた—

「これから2ヵ月、重要な時なのでドキドキしている。最近良いニュースがたくさんある。例えば、米国との関係だ。米国は、日本とロシアの関係を支持すると言っている。別に日本は、他の国に反対されて、ロシアとやっているわけではない。日本には安心感がある。やはり日米の関係は強いからだ。米国はすでに、日本は自国の利益のために行動しており、日ロ関係は米ロ関係と違うと理解している。日本も、そうした政治的選択ができる。その事を普通の日本人も知っている。領土とか歴史は、経済と違い交渉するのに筋が悪い。世論を納得させることが難しいからだ。その辺が日ロ

両政府の、今後の腕の見せどころだ。しっかりと理由をどう説明するのか、何のために交流するのか、説明の仕方が重要で、領土とか歴史ばかりでなく、もっと何か大きな理由を作らないといけない。それがあれば、少しは納得する。プーチン大統領個人は、結構、日本のイメージは悪くない。

(最高首脳会談には) 今がベストの時だと思う。会談がうまく行けば、将来にとって良いが、失敗すると今後が非常に心配だ。それぐらい、これからは大きな2ヵ月になるだろう。」

10月17日、東京のロシア大使館で開かれた、1956年のソ日共同声明調印による外交関係回復60周年を記念したロ日フォーラムの開会式では、セルゲイ・ラヴロフ外相のメッセージが読み上げられた。その中では「ロシア政府は、日本との領土問題調整のため最大限の努力を傾ける用意がある」と述べられている。

<http://sptnkne.ws/c2VT>

### 「ノルマンディー4者」会談、10月19日に実施

(スプートニク 2016年10月18日 18:52)

© Sputnik/ Nikolay Lazarenko <https://goo.gl/CNZkyN>

ドイツ政府のザイベルト公式広報官は「ノルマンディー形式」での会談が成立することを明らかにした。前日、ロシア大統領府内ではそうした会談の成立のチャンスは「うすい」とされていた。ロイター通信が独政府公式報道官の声明を引用して報じたところによれば、メルケル独首相、オランダ仏大統領、ウクライナのポロシェンコ大統領、プーチン大統領は10月19日にベルリンで「ノルマンディー形式」で会談を行う。

メルケル首相はベルリンでの交渉に「ノルマンディー形式」の他の代表らを招いた。ザイベルト報道官は、交渉ではミンスク合意の実装およびウクライナ情勢正常化についての「今後の歩み」が話し合われると語っている。独ビルド紙はザイベルト報道官の声明を引用し、プーチン大統領の「ノルマンディー形式」の会談への参加を確認している。なお先に伝えられたところによると、ロシアとのビザ制度を導入するというウクライナ議員のアイデアは、ウクライナ国民の大量逃亡を引き起こす可能性があるとして、同国外務省が危惧している。

<http://sptnkne.ws/c2Xk>

### トランプ氏、勝ったら就任式までにプーチン氏と会うと公言

(スプートニク 2016年10月18日 19:05)

© AFP 2016/ Jewel Samad <https://goo.gl/iRVx6Z>

共和党のトランプ米大統領候補は、11月8日の選挙で勝利した場合、公式的な就任式までの間に

プーチン大統領と会談する姿勢を示した。米国のニューズメールマガジン「ポリティコ」が報じた。

「11月8日、もし私が勝利したら…、大統領府での作業開始までにプーチン氏とロシア指導部と会談する可能性を検討している。実現すれば素晴らしいと思う。」

トランプ氏はラジオ司会者のマイケル・セヴィージ氏からのインタビューで「ロシアとの戦争回避をどう行なうか」との問いにこう答えた。ポリティコはインタビューの一部を抜粋して報じた。

ポリティコは「詳細は示さずともトランプ氏はこうした形で、今の問題はひとつには現米指導部がプーチン氏に対して過度に侮辱的な態度をとっていることに起因すると語っている」と指摘している。

先に伝えられたところでは、トランプ氏はノースカロライナ州の共和党本部への攻撃につき、ライバルのヒラリー・クリントン氏の支持者らを非難し、彼らを「動物」と呼んだ。

<http://sptnkne.ws/c2Ym>

## 日本、厳しい対北制裁導入の立場崩さず

(スプートニク 2016年10月18日 19:25)

© AFP 2016/ Toru Yamanaka <https://goo.gl/TbMPVZ>

日本政府は、北朝鮮が国連安保理の決議案を無視し、ミサイル・核開発を続けていることを受けて、同国に対しより厳しいさらなる制裁を導入する立場をとった。菅官房長官が今日、記者会見で述べた。菅官房長官は次のように述べた。「安保理におけるさらなる制裁措置を含む新たな決議の採択に向け、関係国と緊密に連携したい」。菅官房長官によると、すでに安保理が導入した制裁決議案を厳格に実施することが必要だと述べた。

先に伝えられたところでは、韓国は北朝鮮を先制攻撃する用意があるという。

<http://sptnkne.ws/c2Yr>

## 北朝鮮外務次官、マレーシアでの対米非公式交渉へ

(スプートニク 2016年10月18日 19:50)

© AP Photo/ Kim Kwang Hyon <https://goo.gl/ijjNik>

朝鮮民主主義人民共和国のハン・ソンリョリ外務次官の姿が18日、北京国際空港で確認された。ハン外務次官は北京からマレーシアへと飛び、米国の代表者との非公式交渉に参加するものと見ら

れている。同日、共同通信はハン外務次官の姿を確認したとして報じた。

事情に詳しい消息筋の話では、対米関係を担当するハン外務次官は米国の代表者らとの非公式会談を行うが、米国側の代表者の名前は現段階では明らかにされていない。5月、ハン外務次官はスウェーデンで同様の会談を実施しており、米国の元外交官らと接触していた。9月、同様に米国の代表団がピョンヤンを訪問しているが、そのとき団長を務めたニューメキシコ州元知事のビル・リチャードソン氏は北朝鮮代表者とのロビー交渉に豊富な経験を有すことで知られている。

北朝鮮は現在の朝鮮半島停戦合意を米国との完全な平和条約へと交換することを支持している。なお先に伝えられたところによると、金曜日15日、北朝鮮で中距離弾道ミサイルが発射されたが失敗した。

<http://sptnkne.ws/c3ax>

#### **日本政府、ロシアとの経済協力に関し、新新潟知事との対話の重要性指摘**

(スプートニク 2016年10月18日 20:30)

◎ 写真: Yuya Tamai <https://goo.gl/1BaAff>

ロシア経済分野協力担当大臣を兼務する世耕弘成経済産業相は、新たに当選した新潟県知事、米山隆一氏と密接にコミュニケーションをとることが重要だと考えている。世耕大臣はロシアと経済協力を進める上で、同県を地理的に不可分な地域だと述べた。共同通信が報じた。世耕大臣は、閣議後の記者会見で記者団に次のように述べた。「新潟県はロシアとの経済協力を進める上でも地理的に密接不可分な地域だ」。米山氏は日曜日、新潟県知事選挙で当選した。

[twitter.com/ https://goo.gl/BilfC7](https://twitter.com/https://goo.gl/BilfC7)

選挙運動中は同県に位置する東京電力柏崎刈羽原発の再稼働計画に慎重な立場を見せるなど、左派政党からの広い支持を得た。このことが、2011年3月に起きた福島原発の事故以降停止している原子炉の、段階的な再稼働を目指している日本政府に懸念を引き起こした。

<http://sptnkne.ws/c2Zb>

#### **日本共産党、4島返還後のロシアとの平和条約締結を申し入れ**

(スプートニク 2016年10月18日 20:53)

◎ 写真: Ryota Nakanishi <https://goo.gl/VEBmzz>

共産党の志位委員長は火曜日、菅官房長官と会談し、南クリルの全4島が返還されない限りロシアと平和条約を締結しないよう申し入れた。志位委員長の次の言葉をNHKテレビが報じた。「歯

舞・色丹の先行返還はあり得るが、二島返還で平和条約を締結することは、その後の領土交渉の道を閉ざすことになり、決してやってはならない」。

この申し入れに理解を示し菅官房長官は、「共産党の主張は受け止めた。四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結するのが政府の基本方針であり、その方針は全く変わらない」と述べた。なお先に伝えられたところによると、日本政府は南クリル諸島4島の帰属問題を解決してから平和条約を締結するという基本方針のもと、ロシアとの協議を粘り強く続けていく意向だ。

<http://sptnkne.ws/c3ve>

### ウクライナを待つは「朝鮮半島のシナリオ」？

(スプートニク 2016年10月18日 21:09)

© Sputnik/ A. Lobow <https://goo.gl/FaY3QL>

ウクライナ南東での情勢緊迫化の場合は、戦争は「朝鮮半島のシナリオ」に沿って行われる可能性がある。ロシアの軍事専門家ボリス・ロジン氏がロシアニュースサイト「スボボードナヤプレサ」のインタビューで述べた。ウクライナ政府軍とドンバス民兵たちの持久戦は2014年4月から行われており、このように時に緊迫化をはさみながら続けられている。ロジン氏は次のように述べた。

「全体的に、我われはこのような状況をすでに2年間見ているが、全体から察するに、この状況はこのように発展して行く。しかし、ウクライナ政府軍とドンバス人民共和国、ルガンスク人民共和国を、真空状態でお互いに吼えていると見てはいけない。情勢緊迫化の場合はおそらく、外部のプレーヤーが援助、軍事的プレゼンスを強め、現地の武装勢力の背後に直接米国やロシアが立つという、『朝鮮半島』もしくは『ベトナム』の戦争のシナリオを引き連れてくるだろう。多くは政治にかかっている。なぜならウクライナとシリアは、米露間の1つの衝突の一部だからだ。」

なお、先に伝えられたところによると、ドイツ政府のザイベルト公式広報官は「ノルマンディー形式」での会談が成立することを明らかにした。

<http://sptnkne.ws/c3vg>

### ロシアの国連大使、アレッポの常時休戦の条件を列挙

(スプートニク 2016年10月18日 21:36)

© AP Photo/ David Karp <https://goo.gl/zezjt0>

ロシアのチュルキン国連大使はシリアのアレッポの停戦体制について、シリアの穏健反体制派の

集団がテロリストたちから引き離された場合に切れ目なく可能となるとの声明を表した。

チュルキン大使は、シリア穏健反体制派がテロ組織「ヌスラ戦線」から引き離されれば、「停戦体制は無限に可能となる」ものの「我々は今まで『ヌスラ』があちらこちらで戦闘を続けるために停戦体制になるや否や、この機会を直ちに利用し、再編成や武器補給を行なう様子を目にしてきた」と指摘している。

チュルキン大使の指摘では、「ヌスラ戦線」を除いて休戦を樹立するためには穏健反体制派組織と政府の間の停戦合意が必要であり、これにより「一切の軍事行動はなくなる」。

チュルキン大使は、反体制派組織とテロリストの線引きが成立した場合、「ヌスラ戦線」はデミストラ・シリア国連特使のプランに従いアレppoから退却するか、「もしくは敗退を喫する」かの選択を迫られることになるかと語っている。

<http://sptnkne.ws/c3vh>

## ロイヤルバンク・オブ・スコットランド、タイムズ誌の記事の後ロシア・トゥデイの口座凍結を考え直す

(スプートニク 2016年10月18日 22:45)

© Sputnik/ Yevgeniy Biyatov <https://goo.gl/nMtGZ3>

ナショナル・ウエストミンスター（ナットウエスト）銀行の持ち株会社であるロイヤルバンク・オブ・スコットランド（RBS）は、「ロシア・トゥデイ（RT）」が英国に所有する銀行口座が凍結されたことについての状況を説明した。

「ロシア・トゥデイ（RT）」が英国に所有する口座は凍結されない。RBSはプレス用の声明では、すべての資産はまだアクセス可能であると述べられており、また、このような決定は「安易には取られない」とされている。ナショナル・ウエストミンスター（ナットウエスト）銀行の持ち株会社であるロイヤルバンク・オブ・スコットランド（RBS）がやむを得ず口座凍結というアイデアを取り止めた。ロシア政府がナットウエストの懲罰的措置に対して、BBCの資金を凍結し、英国政府に言論の事由における義務に違反していると申し出をするという感触を同銀行が受けたからだ。

これに先立ちナットウエスト銀行の公式サイトには、RTはRBSグループを通さずに新たな銀行契約を締結する必要があると書かれていた。11月中旬にはすでにカードのサービスが打ち切れ、12月12日にはすべての業務が停止される。この決定の見直しは行なわれないと、ロシア24が報じている。

英タイムズ紙は18日、ドミニク・ケネディ氏とトム・パーフィット氏による記事『RBS caves in



over ban on Kremlin TV station』を公開した。その記事では、英国銀行が「クレムリンに譲歩した」と書かれている。記事には次のように書かれている。

「ロシア政府がBBCの資金を凍結する可能性があり、言論の自由の侵害を英国と国際機関に訴えるとの声明を出した後、国立銀行は英国に計画していた懲罰措置を取りやめた。」

ハーパー氏は「昨日からRBSの立場は変わっていない」として、「タイム誌の記事は、昨日の我われの声明の後に出された著者たちの仮定だ」と述べた。

<http://sptnkne.ws/c3dq>

### **マスコミ報道：日本政府 ロシアにクリル4島のうち2島を提案する用意**

(スプートニク 2016年10月19日 04:13)

© Sputnik/ Sergey Krasnouhov <https://goo.gl/ezEXB9>

日本政府は、係争中のクリル4島のうち2島におけるロシアの権利を認める可能性について検討中だ。18日、共同通信が内閣筋の情報として伝えた。

安倍首相率いる政府は、プーチン大統領の日本訪問時に平和条約締結に向け前進を達成したいとの希望から「交渉戦略を見直している」。共同通信の消息筋は、そう確認した。

新しい戦略は、消息筋によれば、1956年の共同宣言の中で規定されたようにシコタンとハボマイ2島におけるロシアの権利を認め、平和条約に調印するというものだ。

先に、時事通信が世論調査の結果を引用して報じたところでは、日本人のほぼ半数が、ロシアが日本に係争中の4島ではなく2島を譲渡する場合でもそれに反対していない、とのことだ、と報じられた。

<http://sptnkne.ws/c3vu>

### **私はウラジーミル・プーチンではない—スプートニク通信ワシントン支局のビル・モラン元編集員**

(スプートニク 2016年10月19日 07:15)

© Sputnik/ Igor Russak <https://goo.gl/ooCBlr>

人生でプロは、いったい何回ミスを許されているのか？ 特にもし、この人物が、爆発物を扱うような工兵でなく、例えば、ジャーナリストである場合はどうだろう？ Sputnik (スプートニク) ワシントン支局のビル・モラン元編集員は、今、それはたった一回だとはっきり知っている。たっ

た一度きりの、全く罪のない、そしてすぐに訂正された失敗は、米国のマスメディアの世界で彼をアウトサイダーにしてしまった。彼は、スプートニクの自分の記事の中に書いている。

## 19分が命運を決める

国際情報通信社 Sputnik（スプートニク）は、ワシントン支局で編集員として2月から10月まで働いていた自分達の元職員ビル・モラン氏の記事を公表した。

Sputnik 英語版の自分の最後の記事の中で、モラン氏は、疲労からサイト上にチェックしないまま情報を出してしまった事を明らかにした。10月10日、米国がコロンブスの日を祈念していた時、モラン氏は、12時間勤務の間に12の記事を書き、2人の筆者の他の論文5本をリライトし校閲した。彼は、サイト上の読者に「私は、あまりに急いで仕事をし過ぎた」と説明している。

モラン氏は、内部告発サイト「ウィキリークス」のサイト上で他の文書と共に暴露された、クリントン陣営の選挙対策本部長ジョン・ポデスタ氏へのヒラリー・クリントン候補の代理人シドニー・ブルメンタール氏の手紙を引用したさい、誤って、シドニー・ブルメンタール氏の言葉として雑誌 Newsweek の記事の一部を使ってしまった。その場合、ブルメンタール氏は、リビアのベンガジでのテロ事件で米国人が死亡したことに対し、ヒラリー・クリントン前国務長官の責任を認めたことになってしまう。

モラン氏は「引用の際、人気のツイートに目が向いて、ブルメンタール氏の75ページの手紙を読む時間がなかった」と述べた。その際彼は「自分がどんな誤りを赦してしまったかすぐに気づき、記事を削除することに決めた」と指摘している。しかし記事が削除されるまで、それは19分間サイト上に掲載され、およそ千人がそれを読んだ。

## しかるべき答え

スプートニクのサイト上での記事は、見過ごされなかった。米国のジャーナリスト、クルト・エイヘンワルド (Kurt Eichenwald) 氏は「シドニー・ブルメンタール氏の言葉」の中に、かつて自分が書いた記事のテキストがあることに気が付き、記事に反応した。彼は、その答えとして「親愛なるドナルド・トランプ及びウラジーミル・プーチン殿、私はシドニー・ブルメンタールではありません」との見出しで記事を書いた。

その中で、米国のジャーナリスト、クルト・エイヘンワルド氏は、次のように非難している—

「ロシア人は、偽の物語を作り出すため、ウィキリークスが暴露した本物の文書を用い、それを変えて、この作り話を考えついた。ドナルド・トランプ氏自身が、それを唱和するほどの物語である。」

若いジャーナリストであるビル・モラン氏は、サイト上に間違った情報を出した後、スプートニクを解雇された。彼は、エイヘンワルド氏と Twitter を通じて連絡を取り、ブルメンタール氏の名

前は誤ってスプートニクの記事に出たことを説明した。エイヘンワルド氏は、スプートニクの筆者がサイトにアクセスできないようにし、Newsweekの記事を修正しなかった。

## 拒否可能な提案

そのあと、エイヘンワルド氏は、モラン氏に電話をかけてきた。モラン氏によれば、1時間と6分話は続いた。その後、モラン氏は電子メールで返事を出し、話を公けにするつもりだと書いた。エイヘンワルド氏は、若いモラン氏に「The New Republic」の政治評論員にならないかと提案した。モラン氏は「自分には、仕事のオファーを受け入れ、この記事を公表しないよう忠告する友人がいる」と書いた。

しかしモラン氏は、提案を拒否した。

## プーチンとモーニングコーヒー

モラン氏は、自分の記事の中で、スプートニクは、クレムリンによってコントロールされてはいないと強調し、次のように指摘している-「私とヴラッド（ウラジーミルの愛称、プーチン大統領のこと）は、モーニングコーヒーのことで話したりしない。スプートニクは、ロシア政府から財政援助を受けているが、誰も一度も、何を書くべきか言ってはこなかった」。

モラン氏は、記事の終わりを次のように結んでいる-「私は、厳しく批判されるだろう。私は、スプートニクのために 813 本の記事を書いたが、ただ一度間違いを犯したことは、事実である。その間違いは、意図的に事実を反しなされたものと呼ばれ、ヒステリーにまで煽られた（Newsweek が示したように）。私の名前は永遠に、グーグルの中に残るだろう。これは真実であり、それが私の望みである」。

スプートニクは、モラン氏に対し、スキヤンダルが火を噴いた後、ワシントン支局に戻るよう提案したが、彼は、感謝の言葉を述べながらも、この提案も斥けている。

<http://sptnkne.ws/c3vx>

## 日本の若者、日露共同の未来について白熱議論を交わす

（スプートニク 2016年10月19日 08:52 徳山あすか）

◎ 写真: Klimenty Kudryashov <https://goo.gl/vEW7tK>

16日、日露共同の未来を描く若者たちのフォーラム「ボスホード」が都内で開催（会場提供：株式会社ディスコ）され、大学生を中心に60名近くが参加した。企画したのは、今年4月に誕生した日ロ友好促進団体 ProjectYar（プロジェクト・ヤール）だ。

フォーラムのゲストには、ロシアで最も人気がある SNS 「フ・コンタクチェ」の日本語版プロジェクトリーダーだった豊原行宏氏、日本企業で光電子工学製品の研究開発に携わっているイゴリ・クドウリヤショフ氏、ルースキー・ミール基金の後援で日本に初めてできたロシアセンターの代表、ステラ・シバコーバ創価大教授が招かれた。豊原氏は ICT 分野における日露協力、フ・コンタクチェ日本語版の製作とプロモーション、ロシア ITベンチャー企業との仕事の経験について話し、学生にとって興味深い話題を提供した。情報通信分野でユニークな技術をもつロシアは、日本の良きパートナーになりそうだ。クドウリヤショフ氏は、ロシア人として日本人社会の中で生き、働くことについて自分自身の体験を吐露した。

通常のフォーラムでは、講演を聴いて終わりになってしまうが、今回ヤールはインプットと同じ位アウトプットを大切にしたい。得た知識をアウトプットして参加者で共有するために、ワークショップの時間が多く設けられた。日露のビジネス環境の違いや、日本人がロシアで・ロシア人が日本で働くためには何が必要なのか、日露関係改善を妨げている要因とは何か、自分は日露協力のどのような形で貢献したいのか等、多岐にわたって熱い議論がなされた。参加者はワークショップを通し、自分の頭でロシアを捉え、ロシアとはどういう国なのか、その国と一緒にどのような未来が描けるのか、自分なりにロジックを組み立てることができたようだ。

○ 写真: Klimenty Kudryashov 知識のアウトプット <https://goo.gl/N8kYAY>

ヤール代表で慶應義塾大学法学部の学生、クリメンティ・クドウリヤショフさんは、「講義と議論の 8 時間、まさかここまで盛り上がるとは思っていませんでした。後半は、休憩時間中でさえ、皆がロシアのことについて議論し続けました。参加者のうち 2～3 割は、普段ロシアとは縁の無い学生でしたが、彼らも含めて、ロシアについての話が盛り上がりすぎて止まらなかったというのは、イベントが成功した証だと思っています」と話す。またヤールは、日露の未来のためのオンラインコミュニティ「ソユーズ」のサービス稼働に向けて動いていることを明らかにした。ソユーズに登録すれば、日露の興味ある分野の情報を手に入れたり、人材のマッチングや、企業・団体とのコネクション作りができるようになる予定だ。実現すれば、ロシアに関わる仕事がしたい人にとって、大きな助けになるだろう。

○ 写真: Klimenty Kudryashov ヤールのメンバー <https://goo.gl/3HZ5r0>

折しもフォーラム翌日には、在日ロシア連邦大使館で、日露国交回復 60 周年の式典が行われた。式典に参加したクドウリヤショフさんは「日露関係は大きな改善の方向に向かっており、自分もその大きな流れの一部として存在している。メディアの注目度も高い。しかし日本のロシアに対するアプローチは従来的で、とにかく若者が少ない」と感じたという。日本で生活しながらも、ロシアと関わることに意義を見出す若者を増やそうとしているヤール。日ソ共同宣言から 60 年。枠にとらわれない若者の活動が、社会の中のうねりとなり、新しい日露関係を生み出すことを期待したい。

<http://sptnkne.ws/c3vb>

## ユネスコ分担金支払い保留：日本は、中国人の記憶から歴史を払拭したいのか？

(スプートニク 2016年10月19日 09:24 タチヤナ・フロニ)

© AP Photo/ Jacques Brinon <https://goo.gl/jcgRBS>

日本は、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の分担金支払いを一時停止した。保留した金額は44億円（4,200万ドル）である。ユネスコの「記憶遺産」プログラムの枠内に登録された資料が問題となっている。

岸田外相は、様々な要素を総合的に判断して、こうした決定を下したと伝えた。外相は、日本がユネスコ分担金の最大拠出国であることから、この措置はユネスコにとって重い打撃となるだろうと見ている。どのような要素が、日本政府のかくも大げさな決定に影響を与えたのだろうか？ 日本の政治家達は、まず第一に、中国の南京で1937年に日本の軍部が行った殺害行為を裏付ける証拠が「記憶遺産」のリストに入れられたことを不満としている。

南京虐殺は、日中関係において特別デリケートな問題である。日本政府は、南京虐殺に関する資料を「記憶遺産」のリストに含めないよう、ユネスコに執拗に求めた。なぜならば、日本側の考えでは、この問題が政治利用されているからである。

日本側のそうした厳しい反応は、日本政府にとって、中国本土での日本の戦争及び軍国主義に関係した歴史的過去が、どれほど痛みを伴う問題であるのかを、今一度証明するものとなっている。

ロシア科学アカデミー極東研究所日本調査センターの責任者、ワレーリイ・キスタノフ氏は、日本は、他国に対する自分達の侵略について思い起こさせるどのようなものにも、文字通り銃剣を持って受け入れていると形容した。これは、過去における日本の侵略について若干見直したいとする現政権の路線と関係したものだ。今回のユネスコ分担金支払い保留という形での不満感の表明も、この路線が現実化しつつあることを裏付けている。

キスタノフ日本調査センター長は、次のように述べている—

**キスタノフ：**「日本は、南京虐殺があったことは否定していない。しかし殺された人達の数については（日中間で）大変大きな隔りがある。中国側の学者は、南京虐殺の犠牲者は30万人であると強く主張しているが、日本側は3万人を超えていないとし、双方の間の悲劇の評価は著しく食い違っている。しかしこの場合、専門家達は、問題は数字ではないと考えている。たとえ犠牲者の数が3万人であったとしても、いずれにせよこれは、軍人というよりはむしろ主に平和的にくらしていた女性や老人、子供など一般人に対する残酷な大量殺人であった。その際よく知られているように、日本の軍部は、銃弾を無駄にしないよう命令を出した。それゆえ人々は主に、銃剣や日本刀で殺された。それゆえ問題は、数ではなく、残忍な犯罪が実際に行われたという点にある。おまけに、この犯罪行為には全く根拠がなかった。日本人は、そうした意見にも耳を傾けたがらない。強制的に日本兵の売春宿に連れて行かれた慰安婦について、耳をふさごうとするのと同様にだ。韓国の活動家グループもまた、ユネスコの『記憶遺産』に、慰安婦問題に関する資料を申請している。」

このように述べたキスタノフ氏は「しかし、つい最近、日本人が、登録リストに所謂『白樺日記』を含めるよう提案したことを思えば、日本の反応は、全く論理的ではないと思われる」と指摘し、次のように続けた—

**キスタノフ：**「これは、ソ連で捕虜になった旧日本軍人らが書いた日記で、彼らは、白樺の皮にそれを記したため『白樺日記』と呼ばれている。日記は保存されており、実際、捕虜となった毎日の苦しさを証拠立てるものだ。しかしこれをユネスコの『記憶遺産』のリストに登録したいとの立場には、歴史に対する日本政府のアプローチのダブルスタンダードが示されている。一方で日本は、他の国々が、彼らに大陸における中国人あるいはコリア人に対する日本軍国主義の犯罪を思い起こさせようとするのを欲しないのに、他方では、ソ連で捕虜になった旧日本軍人の記憶を永久に伝えたいと欲している。よく知られているように、旧日本軍人の多くは、実際亡くなられた。しかし彼らは、病気や辛い労働で亡くなられたのだ。銃殺されたり、あるいは何らかの辱めを受けて亡くなったのではない。日本軍人が、自分達の日記を書くチャンスがあったという事実自体、南京で大量に殺された中国人の場合とは、彼らは違った状態にあったことを物語っている。強制的に売春宿に送られた韓国の女性達とも違う。まして日本軍人は、後になって、船で無事日本に帰還した。そしてその際、彼らが持って行こうとしたものが奪われることはなかった。」

こう指摘したキスタノフ氏は「捕虜であったにもかかわらず、日本軍人の多くは、自分の心の中にロシアに対する温かい関係を作り出し、その後ロシアの友人となることができた」とし、さらに次のような思い出を語った—

**キスタノフ：**「私は、大阪と東京で数年働いた。その時、捕虜となった旧日本軍人の方と何回かお会いすることになった。その際、そうした方々から、彼らがロシアで捕虜にならっていたことからくる何らかの敵意を、私は感じたことはなかった。それを示唆するような事もなかった。あべこべに私に対する、何らかの特別の注意や温かい思いを示してくださった。何かノスタルジックな感情に支配されていたのかもしれない。日本の軍人捕虜の方達が、多くのロシアの歌を故郷に持って行ったことを、思い出せば十分だろう。そうした歌は、今での日本でかなりよく知られている。日本の共産党が、ソ連から帰国した軍人捕虜のおかげで、1950年代に自分達の隊列を大きく拡大したことも、雄弁に物語っている。少し後に、日本とロシアの友好を目指すいくつかの団体ができたこともそうだ。そうした団体のメンバーのかなりの部分は、祖国に帰還した旧日本軍人だった。」

キスタノフ氏の意見によれば、日本がユネスコ分担金の支払いを一時停止しても、結局、南京虐殺についての思い出を中国人の記憶から抹殺することにはならない。肝心なことは、ああした悲劇を二度と繰り返さないよう、歴史の最も恐ろしいページとして、共に学ぶことである。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部の立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/c3vj>

## 英国労組の指導者、RT口座凍結は「外国放送への警告シグナル」

(スプートニク 2016年10月19日 17:08)

© Sputnik/ Evgeniy Biyatov <https://goo.gl/30NDLh>

英国のナットウェスト銀行がロシアのテレビ局RTの口座凍結を決めたことについて、英国の主導的労働組合に数えられるRMT（鉄道海運労組）のステイブン・ヘドリー副書記長は「アルジャジーラ」（アラビア語、英語による衛星テレビ）および他の外国語放送へのシグナルであるとの声明を表した。

「（ナットウェスト）銀行の決定はRT以外のプレSTVやアルジャジーラなど、事件に対するその視点がいわゆる西側の情報メインストリームというものと異なる、いかなる他のマスコミに対するシグナルを含んでいる。これら外国のマスコミに警句が送られている。『もしこの先も我々の公式的な視点に反撃しながら自分の言い分を通そうとするなら、財政上の問題が生じるようになるぞ』という警句が。」

RMTのヘドリー副書記長はこう語っている。RTの口座凍結の決定についてヘドリー副書記長は「言論の自由に対する許し難い攻撃」であり「スコットランド銀行の主たる株主は国であることから、これは〔銀行〕独自の判断ではない」と指摘した。

「マスコミのあらゆる材料がコントロールされ、公式見解に合致しないと発表は許可されないわ、マスコミの財政源を断つわ…。こんなことで我々の国は一体どこに行き着くのだろうか？ 今回の決定は全体主義国家へ一歩近づいたことを示す。」ヘドリー副書記長はこう語っている。

<http://sptnkne.ws/c33x>

## シリア議会、クリミアのロシアへの帰属を認証

(スプートニク 2016年10月19日 19:21)

© AP Photo/ BASSEM TELLAWI <https://goo.gl/OPkOPc>

シリア議会は、住民のほぼ97%がロシアへの再編入を支持したクリミアの住民投票の結果を認める。シリア議会のハディヤ・アッバス議長はこうした声明を表し、クリミアはソ連崩壊の後、ようやく「源流に戻った」と指摘した。

シリアは2014年3月に行なわれたクリミア自治共和国のロシアへの再編入についての住民投票の結果を認める。シリア議会のハディヤ・アッバス議長はスプートニクからのインタビューにこう語った。「クリミアで起こったことは次のようなことであった。この土地はもともとソ連の一部をなす構成体だった。だがソ連崩壊から現在に至るまでに起きた複数の事件が理由となり、クリミアの住民投票で市民が自由な意思表明を行ない、この中でクリミア半島住民の関心が直接的に反映され



た結果、この構成体は源流（ロシア連邦）に戻る事となった。住民らは自国と統一する決定を採った。これがつまり起きたことの全貌である！」シリア議会のアッバス議長はこう語った。

シリア議会のアッバス議長はシリアとロシアの関係をあらゆるレベルで拡大する作業に取り組む構えを確認した。2015年、ジャパン・タイムズ評論員として執筆するグレゴリー・クラーク氏は、「クリミアはいつの時代もロシア領であり、今もロシアであり続けている」と語った。

<http://sptnkne.ws/c33e>

### エクアドル、アサンジ氏のネット切断理由を説明

(スプートニク 2016年10月19日 18:48)

© REUTERS/ Peter Nicholls <https://goo.gl/wBTrst>

エクアドル政府は、ウィキリークスの創始者、ジュリアン・アサンジ氏4年間あまり潜伏を続けているロンドンのエクアドル大使館内でインターネット接続を制限した事実を認めた。同措置がとられた事実はエクアドル外務省の発表したエクアドル指導部の声明に公式的に明らかにされた。

エクアドル外務省の公表した声明文書には、ウィキリークスはここ最近米国大統領選挙に関する文書を多量に公表しているものの、「エクアドル政府は他国の事情には介入しない原則を尊重しており、現在の選挙前プロセスにも介入せず、いずれの候補者への支持も表明しない」と書かれている。また、接続が立たれた時間も制限的なものであり、ウィキリークスのジャーナリストらの作業を阻害するものではないとも指摘されている。

ウィキリークス側は、エクアドルがアサンジ氏のネット接続を切断したのはヒラリー・クリントン氏がゴールドマンサックスで行なった演説内容を公開した直後だったことを明らかにしている。これより前、アサンジ氏自身は自己の活動について、具体的に民主党推薦の候補者(クリントン氏)に反対して行なっているわけではないことを明らかにしていた。

<http://sptnkne.ws/c38E>

### シリア議会 クリミアをロシアの一部と認める

(スプートニク 2016年10月19日 18:56)

© 写真: Mahmood Hosseini <https://goo.gl/jYlYBd>

シリア議会は、住民のほぼ97%がロシアへの再編入を支持したクリミアの住民投票の結果を認める。シリア議会のハディヤ・アッバス議長はこうした声明を表し、クリミアはソ連崩壊の後、ようやく「源流に戻った」と指摘した。シリアは2014年3月に行なわれたクリミア自治共和国のロシ

アへの再編入についての住民投票の結果を認める。シリア議会のハディヤ・アッバス議長はスプートニクからのインタビューにこう語った。

「クリミアで起こったことは次のようなことであった。この土地はもともとソ連の一部をなす構成体だった。だがソ連崩壊から現在に至るまでに起きた複数の事件が理由となり、クリミアの住民投票で市民が自由な意思表示を行ない、この中でクリミア半島住民の関心が直接的に反映された結果、この構成体は源流（ロシア連邦）に戻ることとなった。住民らは自国と統一する決定を採った。これがつまり起きたことの全貌である！」シリア議会のアッバス議長はこう語った。

シリア議会のアッバス議長はシリアとロシアの関係をあらゆるレベルで拡大する作業に取り組む構えを確認した。2015年、ジャパン・タイムズ評論員として執筆するグレゴリー・クラーク氏は、「クリミアはいつの時代もロシア領であり、今もロシアであり続けている」と語った。

アッバス議長は、次のように述べた—

「我々は、クリミアがロシアの不可分の一部であることを認める。シリアとロシアの関係は、戦略的であり将来性のあるものだ。また我々は、政治、経済、社会さらには領事といったあらゆる領域で、ロシア政府との関係発展に取り組むだろう。領事関係が発展すれば、ロシア連邦構成共和国内における状況確立も可能になる。」

クリミア当局は、2014年2月にウクライナで国家クーデターがなされた後、住民投票を実施した。ウクライナ当局は、相変わらず、クリミアを自分達の領土で、一時的に占領されているとみなしている。西側諸国も、同様の立場を固持している。ロシア政府は、これまで何度も、クリミア住民が民主的な方法で、かつ完全に国際法と国連憲章に従って、ロシアへの再統合を支持したことを訴えてきた。プーチン大統領は「クリミア問題は最終的にピリオドが打たれた」と述べている。

またシリアにおけるロシア航空宇宙軍の作戦を総括して、アッバス議長は、「攻撃にさらされ抑圧される者たちの側を常に受け入れてきたロシアを絶対的に信頼している」と語った。

またアッバス議長は、シリア国家の分裂に反対しながらも、クルド人の自治権は公式に強化されなくてはならないと主張しているシリア国内のクルド人の状況及び、シリア国内の政治的調整について触れ「シリア政府は、クルド人を含め共和国市民の権利が守られるよう、あらゆることをするだろうと約束した。彼女によれば、クルド人の大部分は、シリアからの離脱を支持していないとのことだ。

アッバス議長は、さらに次のように付け加えた—

「クルド人の大部分は、シリアから引き離された生活を支持していない。我々も、クルド人を含め、我が国の市民すべてのあらゆる権利が守られるよう、できる限りのことをするだろう。新しく招集された議会では、10人を超えるクルド人議員がおり、クルド人の立場を十分幅広く代表している。クルド人達は、あらゆる国家機関の仕事に積極的に参加してきたし、今も参加

している。こうした傾向は、今後も強まってゆくだけだ。」

<http://sptnkne.ws/c35U>

## **露外務省報道官、連合軍のアレッポ攻撃を非難、ベルギーは即刻これに反応**

(スプートニク 2016年10月19日 20:54)

◎ REUTERS/ Abdalrhman Ismail <https://goo.gl/5FHYBL>

ベルギー空軍のアレッポ空爆は国際社会の非難を受けていないものの、ロシアはベルギー軍のこうした攻撃はシリアの武装戦闘員を温存する試み以外の何ものでもないという見方をとらざるを得ない。ロシア外務省のマリヤ・ザハロヴァ公式報道官はこうした声明を表した。

18日、アレッポ州ハッサジェク村への空爆の結果、6人が死亡、2軒の家屋が破壊された。現場付近ではベルギー空軍のF-16戦闘機2機の飛行が確認されており、ロシア航空宇宙軍、シリア空軍の航空機は飛んでいなかった。

その一方でベルギーのスチーブン・ヴァンデプト国防相は声明を表し、「我々はどこで行動を行なうかは普段発表しないが、この数日はベルギー空軍の飛行機はこうした地区の上空は飛行していなかった。」としてベルギー空軍はアレッポ周辺では民間施設への攻撃を行っていないと主張している。

なお、ロシア国防省は昨18日声明を表し、モスクワ時間10月18日10時からシリア・アレッポでの空爆を停止したことを明らかにしている。

<http://sptnkne.ws/c38W>

## **ロシア政府、クリル諸島に関する日本との計画についての報道にコメント**

(スプートニク 2016年10月19日 21:17)

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/DPovCE>

ロシア政府は日本メディアによる、日本政府がロシアに南クリル諸島の共同統治を提案する計画だとの報道を「情報注入」だとみなしている。ドミトリー・ペスコフ大統領報道官が述べた。前に共同通信が多数の政府筋の情報をもとに、日本政府は南クリル諸島の帰属問題に柔軟に対応する用意があり、具体的には日本に諸島が引き渡されるならば主権についてはこだわらないと報じた。日経新聞は月曜日、日本はロシアに南クリル諸島の共同統治案を提案する意向だと報じた。とはいえ、川村泰久外務報道官はこの報道を否定した。

ペスコフ報道官は次のように述べた。「あなたがたはこれを『情報注入』だと正しく特徴づけた。もしあなたがたが注意を払ったなら、朝には「注入」する記事が出て、1日の終りには日本政府が正式に否定している。それゆえ、この件でコメントすることは何もない」。

<http://sptnkne.ws/c3B4>

### 米朝秘密交渉：新たな突破口を開く戦略か、あるいはいつか来た道か？

(スプートニク 2016年10月19日 23:02 徳山あすか、タチヤナ・フロニ)

© AP Photo/ Ahn Young-joon <https://goo.gl/hEiGg6>

朝鮮民主主義人民共和国のハン・ソンリョル（韓成烈）外務次官が、北京国際空港に姿を現した。そこから彼は、米国代表者との非公式交渉実施のためマレーシアへと向かう。共同通信が伝えた。同通信社記者は、外務次官の北京到着を確認した。

今年5月、ハン外務次官は、同じような目的でスウェーデンを訪れ、そこでも米国の元外交官らとコンタクトを持った。さらに9月には、ピョンヤンをリチャードソン前米ニューメキシコ州知事が率いる民間代表団が訪れた。リチャードソン前知事は、北朝鮮代表者との秘密交渉に関し長年の経験の持ち主だ。こうした訪問の数々は、米国の対北朝鮮政策の何らかの新しい特徴と関係しているのではないかとよく知られているように、ハン氏は最近、外務次官に昇任したばかりだが、外務省米州局長を務めていた人物で、もう大分前から対米関係の諸問題を担当している。

スプートニク記者は、BRICS調査国家委員会の専務理事で、ロシア科学アカデミー経済研究所アジア戦略センター長でもあるゲオルギイ・トロラヤ氏に意見を聞いた。氏は「ハン外務次官参加のもと、これまでの6カ国協議すべてが行われた。また彼は、米朝二国間協議にも参加してきた」と説明し「もちろん、こうしたコンタクトは、北朝鮮に対する厳しい制裁を背景にしても途切れはしなかった」と述べ、次のように続けた—

「交渉は、少しずつ続けられている。しかしすでに、いわば第二のラインを通じて、専門家の間では意見交換が行われている。そうした会合は、かなり多い。ロシア人が参加することもある。対北朝鮮関係における何かを今変えようとする試みというより、オバマ大統領の任期が終わりかけていることを背景にした米国側からの、おそらくは将来に向けてあり得るプランを示唆するものだろう。つまり現在米国内でも、オバマ政権が行っている政策の正しさと合理性に関し、実際、激しいディスカッションが続いているという事だ。おまけに2つの側から、批判がなされている。まず第一に、北朝鮮に対する『戦略的忍耐』政策に対してだ。強硬派の間からは、耐える必要などなかった、軍事力行使までを含め、もっと十分締め付ける必要があったとの意見が聞こえる。また別の側は、米国の対北朝鮮政策は、受け身であり場当たりのだった。そのため、北朝鮮の核潜在力拡大が可能となったと批判している。北朝鮮との交渉を積極的に行うべきだった、その核プログラムを凍結するべきだったというのである。将来どちらの側が優勢になるのか、それは分からない。しかし、いかなる場合であっても、大統領行政府交代に

に向けた準備期間中、米朝コンタクトを今続けることは価値がある。」

中期的な展望では、米国の新指導部は、北朝鮮に対する公式的な政治路線と並行しながら、まさに「第二の道」に沿って外交を行う可能性がある。

しかし、長年にわたり北朝鮮経済の基本的なドナーであった中国の参加なしには、おそらくそれをするのは無理だろう。トロラヤ氏は、さらに次のように続けた—

「米国外交は眠りながらも、いかに中国に北朝鮮へ圧力をかけさせるかを考えている。ある時には、米国はそれに成功するように思えた。いずれにしても、北朝鮮当局が行った4回目の核実験の際の、前の制裁合意の時がそうだった。しかし、米国が、北京に歩み寄る何らかの措置をとる代わりに、韓国領内に、明らかに反中国的な性格を持つ対ミサイル防衛システムを配備したことから、中国は激怒した。それゆえ中国は現在、とても慎重で、米国の約束を簡単には信じない。私は、北朝鮮に関し、近い将来、米国と中国が合意に達するのは難しいのではないかと考えている。まずそれは、米国が今のところ、彼らは最終的に北朝鮮の体制崩壊を欲しているのかどうか、あるいは北を引き込みたいのか、まだはっきりと自分の目標を形作れていないからだ。北朝鮮に対する態度がはっきりしない間は、単に北当局は、非核化には同意しないだろう。」

また朝鮮半島の問題に詳しい、拓殖大学大学院の武貞秀士特任教授は、米国と北朝鮮のコンタクトは日本にメリットがあるとし、次のように述べている—

「米国と北朝鮮のコンタクトは始まっており、今後さらに加速するだろう。オバマ大統領は、核を保有してしまった相手を追い込むことはしない。米国はイランやキューバへのアプローチを、北朝鮮に適用するのではないかと思う。日本は北朝鮮との二国間協議を再開するチャンスだ。」

また、武貞教授は、米国のこうしたアプローチは、来月の大統領選後も続くだろうという見方を示した。

なお専門家の大部分は、現在、6ヵ国協議に代わる米政府による北朝鮮に対する厳しい制裁戦術は、世界を全く逆の結果に導いたとの意見でまとまっている。以前、北朝鮮指導部は、国家の安全保障を、何らかの譲歩という条件で求めていた。ところが今は、そうではない。北朝鮮との今後の対話の基礎となるのは、この国を核大国と認める事なのだ。これを米国も中国もロシアも、そして日本も断固受け入れることはできない。こうしたファクターを考慮した場合、米国の秘密交渉は、朝鮮半島の危機脱出に向けた全体的なロードマップ作りにつながるのだろうか？ この問いに対しては、相変わらず、答えが出ないままである。

<http://sptnkne.ws/c3Sd>

## ノルマンディー4者の首脳ら、ベルリンで協議

(スプートニク 2016年10月20日 02:31)

© AFP 2016/ Odd Andersen <https://goo.gl/mq4uWN>

ベルリンでプーチン大統領、ウクライナのポロシェンコ大統領、メルケル首相、オランダ大統領たちの協議がベルリンで始まった。協議ではドンバスでの紛争停止について話し合われる。この後、プーチン大統領、メルケル首相、オランダ大統領が出席する、シリア情勢について話し合う会談が開かれると見られている。これに先立ち10月19日、ポロシェンコ大統領、メルケル首相、オランダ大統領による3者会談が開かれた。

<http://sptnkne.ws/c3JZ>

## ロシアの労働力は中国より安くなった

(スプートニク 2016年10月20日 05:55)

© Sputnik/ Igor Zarembo <https://goo.gl/yGzm3Y>

ズベルバンク（ロシア連邦貯蓄銀行）の主任アナリスト、ミハイル・マトフニコフ氏は、ロシアの平均賃金が最近目に見えて下がったと述べた。同国労働力は中国のそれより安くなった。

以前は中国の労働市場は450ドルの指標にあった平均賃金を理由に、最もお得だと見られていた。ロシアでは平均賃金の指標は更に低く、様々な外国製品生産のためにはロシアが更に魅力的になっている。

現時点でロシアの平均月給は433ドル。これは、中国、ポーランド、セルビア、ルーマニアの指標より低い。これらの国は労働力が安いため、様々な企業にとって最も魅力的だと考えられている。

先に、日本企業が年金受給開始年齢に達した人たちを雇うケースが増えていると報じられた。

<http://sptnkne.ws/c3Uy>

## ドイツメディア、プーチン大統領のベルリン訪問を政治的スクープとみなす

(スプートニク 2016年10月20日 05:11)

© Sputnik/ Sergei Guneev <https://goo.gl/xbzaIc>

ドイツメディアは、今日開かれる「ノルマンディー4者」会談のためのプーチン大統領のベルリン訪問を「スクープ」と報じた。通信社ドイチェ・ヴェレは次のように報じた。

「小さなスクープだ。ベルリンにある連邦首相のオフィスでロシアの大統領がこの水曜日にメルケル首相、仏オランダ大統領、ウクライナのポロシェンコ大統領と会談する。」

最後に「ノルマンディー4者」が集まったのは去年10月、パリにおいて。サイト「Huffington Post」もまた、プーチン大統領の訪問を「政治的スクープ」だと呼び、プーチン大統領はロシアへのクリミアの再統合からベルリンを訪問していなかったと指摘した。新オスナブリュック新聞はプーチン大統領の訪問を「吉報」だとし、次のように報じた。

「プーチン大統領と対等に話す時、それはプーチン大統領が対話に開かれていることを意味する。」

独ビルト紙は一方、この会談をいつも通りの同紙の、ロシアに対して攻撃的なトーンに照らして見ており、「メルケル首相は今日、プーチン大統領を止めることができるのか？」と疑問を呈している。「ノルマンディー4者」はベルリンでウクライナ危機の正常化を話し合い、また、シリアの情勢について触れる可能性もあるとみられている。さらにメルケル首相は「全くの自信を持って」、この会談から奇跡を待つのは値しないとしながらも、「対話することは常に不可欠だ」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/c3Tx>

### **モスクワに 100 万人以上の外国人、うち 70%は就労目的**

(スプートニク 2016 年 10 月 20 日 06:24)

◎ Sputnik/ Vladimir Sergeev <https://goo.gl/XVUWlz>

モスクワには全部で 100 万人以上の外国人が滞在しており、うち 70%は就労目的で訪れた。モスクワ市内務総局の移民問題部のドミトリー・セルギエンコ副部長が記者会見で述べた。セルギエンコ副部長によると、今年はじめから 9 月にかけて移民センターを、34 万 3,000 人の外国人が就労許可証を取得する目的で訪れた。この数字は去年同時期の 47 万 7,000 人より少ない。先に伝えられた、英国の雑誌 Times Higher Education が毎年発表する世界で最も優れた大学のランキングに、今年はロシアから 24 の大学が入った。このうち 11 校は初めてのランク入り。

<http://sptnkne.ws/c3Sy>

### **中国アナリスト：軍縮を促進するのは民衆蜂起だけで、制裁は無益**

(スプートニク 2016 年 10 月 20 日 07:11)

◎ Sputnik/ Marc Bennets <https://goo.gl/MPVPue>

米国の同僚と違い中国のアナリストたちは、経済的締め付けは北朝鮮指導部を核軍縮に向かわせ



ないと理解している。ソウルにある国民大学の教授である韓国学者アンドレイ・ラニコフ氏はナショナル・インタレストで述べた。国際的な制裁が同国経済に打撃を与えたとしても、北朝鮮の政治家たちは自らの方針を変えないとラニコフ氏は見ている。ラニコフ氏は次のように述べた。

「中国は、経済崩壊ではなく、民衆蜂起を目的とした北朝鮮への厳しい締め付け無しには軍縮は手に入れられないと認めている。このような状況に置かれた北朝鮮エリートは、核プログラム放棄は、そのような危機の結果に比べリスクが少ないと決める可能性がある。一方、このような状況下においてさえ北朝鮮は政治的問題を無視し、核兵器発展を続けると仮定する根拠がある。」

ラニコフ氏はまた、中国は政権崩壊を必要としていないとし、次のように指摘した。

「中国には核兵器を有している隣国での内戦は必要ない。中国政府は軍事、政治的に介入する必要性に迫られることを望んではおらず、韓国支援のもと朝鮮半島が統一することに反対している。」

<http://sptnkne.ws/c3U5>

### **プーチン大統領の日本訪問までに大規模な準備がなされるー露外務省**

(スプートニク 2016年10月20日 08:31)

◎ Sputnik/ Michail Klimentiev <https://goo.gl/Q54cag>

プーチン大統領の日本訪問に先立ち、大規模な準備が行われる。イーゴリ・モルグロフ外務次官が述べた。プーチン大統領の日本訪問は12月に行われる予定。モルグロフ外務次官は、日ソ共同宣言60周年を記念した展示会のオープニングで次のように述べた。「現在、プーチン大統領の日本訪問という重要な行事に向けて大規模な準備が展開されている」。モルグロフ外務次官によると、現在、露日間対話の活発化が見られる。モルグロフ外務次官は、1956年に調印された日ソ共同宣言で築かれた信頼と協力の潜在能力が、2国間関係の複合体全てを推進するための大きな助けとなるとの自信を表した。

<http://sptnkne.ws/c3TG>

### **世論をかき乱す日本のマスメディア：島は半分ずつに？**

(スプートニク 2016年10月20日 09:03 タチヤナ・フロニ)

◎ Sputnik/ Sergey Krivosheyev <https://goo.gl/r0rPFE>

日本政府は、南クリル4島のうち2島におけるロシアの権利を認める可能性がある。そうした情

報が、共同通信そして日本政府筋の情報を引用する形で、ロシアのマスメディアに現れた。

ここで指摘されたのは、プーチン大統領の12月の日本訪問を前に、日本政府が「交渉実施の戦略を見直した」という事だ。共同通信によれば、全く動かない交渉を前へと進めるために、日本は、本質的譲歩をする用意があるという。安倍政権は、ロシア政府に、面積の上で小さな2つの島に対する権利保持を提案する可能性がある。また共同通信の報道では、日本政府は島の「返還」に変え、よりソフトな「譲渡」という表現を使うという他の措置も取る用意があるとのことだ。

こうした共同通信の報道のすぐ前に、さまざまなマスメディアが、日本はロシアに、南クリルの共同管理をロシアに提案する用意があると伝えたことも、指摘しておく必要があるだろう。しかし日本外務省は、少し後になって、この情報を否定した。今回も、そのようになった。日本外務省は、南クリル4島のうち2島におけるロシアの権利を認めるという報道について、日本の立場は、これまでと変わらないと否定している。

一方ロシアのドミトリー・ペスコフ大統領報道官は、ロシアとの南クリル共同管理という日本の意向について「情報ジャンクション」だとし「朝、情報が噴出して、その日の終わりには日本政府が、それを否定していることに注意を向けるなら、この場合、何もコメントすることはない」と述べた。この事は、大多数の専門家達の分析も確認している。領土問題に関する日本とロシアの立場は、1956年の共同宣言に書かれている事よりも近づくことはなかった。それにもかかわらず、領土問題に関する交渉の加速化や突破口を切り開くとされる、ますます新しい解決法についての情報が、絶えず現れ、マスコミで大げさな見出しで扱われている。こうした憶測はどの程度正しいのだろうか、ジャーナリスト達は、それによって読者に、一体どれほどの望ましい結果を想像させることだろうか？

スポーツニク日本記者は、国際関係の専門家であるドミトリー・ストレリツォフ氏に意見を聞いた。氏は現在日本滞在中である。

**ストレリツォフ氏：**「私には、何らかの突破口的解決策について話すのは早いと思われる。両国の指導者は、密計を保ちながら、しかし表には何も出ないようあらゆることをした。そうしたアプローチは正しい。なぜなら、訪問前に、前もって世論をかき乱すことなど、単に何の意味もないからだ。けれども、マスメディアがいつもそうであるように、さまざまな憶測は絶えず存在する。とはいえとにかく、安倍首相とプーチン大統領が何について合意するのか、我々は、会談が終わって初めて知るのだ。私の考えでは、意外で全く特別な、いかなる解決法も期待すべきではない。しかし何らかの、この問題の解決を前進させる方向での措置、そして行動さえとられる可能性がかなりある。」

プーチン大統領は12月15日に日本を訪問すると見られている。両国の外交関係回復60周年を前に、岸田外務大臣は、プーチン訪日が高い成果を収めるよう、日本も努力を続ける意向を明らかにした。努力の中には、二国間の交渉議題に長年、差し迫ったものとして入っている領土問題の調整も含まれている。日本政府は、北方領土の返還を、第二次世界大戦終了からこれまで結ばれていないロシアとの平和条約締結の条件として提起している。一方ロシア政府の立場は、南クリルは、第

二次世界大戦の結果としてソ連に編入されたもので、これらの島々に対するロシアの主権は疑いがない、というものだ。

<http://sptnkne.ws/c3U9>

### **ロシア政治家：米国はシリアに関するロシアとの対話を望まない。米国の目的は政権交代**

(スプートニク 2016年10月20日 10:01)

© AFP 2016/ Mohamad Abazeed <https://goo.gl/WUcyrM>

米国の目的はロシアのそれと異なり、シリアの政権交代にあるため、米国は同国のことでロシアと協力する予定はないとし、ロシア上院に当たる連邦院議員のアレクセイ・プシコフがツイッターに次のように書いた。「米務省：米国はシリアのことでロシアと協力する予定はない。わかりきったことだ：異なる課題、異なる同盟者、異なる目的。米国の目的は、政権交代だ。」

<http://sptnkne.ws/c3UB>